

幼兒の教育



第 一 卷 第 一 號 第 一 號

東京女子高等師範學校

日本幼稚園協會

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編 (再版)

觀察の實際

菊判一三〇頁
定價金壹圓
送東京金六錢
料市内金九錢
其他

○觀察の實際については何か参考したいといふ御希望は皆様から常に伺ふ所、本書はその爲に最も適切親切なる書である。

日本幼稚園協會編

幼稚園談話集 (四版)

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

系統的保育案の實際 (四版)

幼児の教育 (月刊)

菊版三五〇頁
定價金壹圓五拾錢
送東京金六錢
料市内金九錢
其他

定價金壹圓
送東京金六錢
料市内金九錢
其他

一ヶ月 金參拾五錢 送料金一錢
一ケ年 金四圓貳拾錢 送料共

賀
正

日本幼稚園協會

生徒募集

本科生四十名 研究生若干名

願書受付三月二十日迄規則書は参銭切手
封入の上申込まれよ。

玉成保姆養成所

所長 ソファヤ・アラベラ・アルウ井ン

東京市杉並區西高井戸一丁目一三三
省線 西荻窪下車直南約五丁

創立以來廿六年。

大正五年東京市麴町區に創立。

昭和二年武藏野の中なる現在地に新築、

附近に森あり、野あり、川ありて四時自

然の恩恵を受け、本校の特色とする自然

觀察、博物採集、圖畫寫生、自然物應用

の手工等材料豊富なり。

生徒募集

一定員 七拾名

一出願期限 三月末日迄

規則竝ニ入學案内ハ三錢切手封入申込マレタシ

東京市品川區大井原町五二〇八(省線大井町驛ヨリ城南バ
スニアテ原停留場下車二分)

東京昭和保姆養成所

所 長 土 川 五 郎

顧問兼講師 倉 橋 惣 三
東京女子高等師範教授

保姆生徒募集

一、募集人員 六拾名

二、出願期日 二月一日ヨリ三月中

三、入學案内 入用の方は參錢切手同封申込ありたし

昭和十六年一月

東京目白保姆學校

所在 東京市淀橋區下落合三丁目二三八八
電話 落合長崎二五五九番

校長 和田 實

生徒募集

一、募集人員 一百名

一、出願期限 自二月一日
至三月三十一日

無試験檢定ノ特典アリ

規則書入用ノ方ハ二錢切手封入申込マレタシ

東京市杉並區高圓寺三ノ二九八

聖心學園内(電話中野二四八四)

省線高圓寺驛 青バス 西武電車高圓寺三丁目下車

東京保姆專修學校

△定員 六十名
△締切 三月二十日

△保母無試験檢定
△寄宿舎完備

佛教保育協會

中野保母養成所

東京市中野區宮前町 電話中野五八七〇番

△今度附設ノ感應幼稚園ニテハ皇紀二千六百年記念事業トシテ
榮養給食ヲ實施セルニ付保母科生徒ニ於テモ給食並割烹ヲ正
科目トシテ課スルコトニ致シマシタ
△交通ハ省線新宿驛ヨリ五分デス

學則請求要三錢



號一第 育教の兒幼 卷一十四第

—(次 目)—

屏	幼稚園と新體制……………	下村 壽	(一)
	皇后陛下の御巡覽を幼稚園に仰ぎ奉りて……………	倉橋 惣	(二)
	國民學校を前にして幼稚園に望む……………	堀 七 藏	(九)
	新體制下の幼稚園……………		
	まへがき……………	倉橋 惣	(三)
	保健方面の使命について……………	廣 瀬 興	(三)
	身體的方面のこゝについて……………	坂内 ミツ	(五)
	幼稚園の情操教育……………	高濱 キミ	(七)
	當園に於ける幼児の躰について……………	金原 伸子	(二〇)
	幼稚園の情操教育……………	草 野 京	(三)
	談 話……………	柴田 みきり	(四)
	觀察について……………	隈 井 玉子	(六)
	唱歌遊戯について……………	山 村 きよ	(九)
	手技について……………	徳久 智江子	(三)
	開園式を擧げ得なかつた東洋幼稚園の開園式の思出……………	岸 邊 福雄	(五)
	一月の保育……………	及 川 ふみ	(四)
	各地保育會の活動(右)手縣保育會概況……………	高 橋 タツ	(四)
	大政翼賛……………		(四)
	幼児の母……………		(四)
	月刊「幼児の母」に就て……………		(五)
	幼児の衛生……………	萩 原 兼 文	(五)
	保育實習科新卒業者……………		(五)

幼兒唱歌募集

フレーベル賞による懸賞募集

先年株式會社フレーベル館高市社長より同館創業三十周年記念として、保育資金一千五百圓を全國保育界に對して提供せられ、その使途につき本會に委託せられましたことは度々本誌上に御報告申上げた通りであります。よつて本會はそのため特に實行委員諸氏を御委嘱し、協議の上、童話童謡手技等の懸賞募集を行ひ來り、いづれも好成績を擧げましたことも御承知頂いてゐるご存じます。今回は更に募集範圍を擴大して、幼稚園の方々の外、小學校教育御關係の方々にも御應募を乞ふことゝしました。廣く多數の優秀作品を得たいと期待して居ります。左の規定により盛に御應募下さるやう願ひます。

募集規定

應募作は幼兒にうたはせるに適するものたること。(適當なるものには曲譜を附す)

主題、内容、長短は隨意。

幼稚園、託兒所保母諸君及び小學校教員諸君の自作たること。(舊作にてもよろし)

應募篇數任意。

原稿紙にペン書のこと。

應募者は住所、氏名(誌上匿名隨意)及び奉職園校の名稱、所在地を明記のこと。

日本幼稚園協會(東京市小石川區東京女子高等師範學校附屬幼稚園内) 幼兒唱歌募集掛宛のこと。

締切 昭和十六年二月末日

發表 昭和十六年五月一日日本會發行の「幼兒の教育」誌上。

入選作は本誌に掲載し、賞狀及賞金を贈呈します。

フレーベル賞

一等一名金參拾圓 二等一名金貳拾圓 三等一名金拾圓 選外佳作若干名(賞品贈呈)

審査 (五十音順)

及川ふみ氏 岸邊福雄氏 倉橋惣三氏 葛原 菫氏

原稿は一切返却しません。

尚御不明の點は往復はがきで本會幼兒唱歌募集掛宛お問合せ下さい。

昭和十六年十一月

東京市小石川區東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會



西洋にモザイクがあり、東洋に七寶があり、幼稚園にハリエがある。繪畫ではあらはせない劃線の美、角度の美があり、色の全體がくつきりと浮き上つて來るところに、なんともいへない獨特の味があります。序に、どんな小さな色紙の切りはしでも、立派に玻璃、寶石の用をなすところにも、時局下藝術小工場に向くところがあるといへませうか。

(倉橋惣三)

幼稚園と新體制

會長 下村 壽 一

幼兒には幼兒の世界があつて、そこには新體制も舊體制もないと言ふ考へ方は間違つてゐる。東亞共榮圏の確立八紘一宇の大理想顯現は一億國民擧つての大使命であつて、之を完遂する爲不可欠の新體制確立である以上は、當歳の赤ん坊にも百歳の老翁にも除外例の認めらるべき道理はない。故に幼稚園は幼稚園相應に新體制に順應する覺悟と用意さが極めて肝要である。況んや教育の新體制たる國民學校案は、愈々本年四月から實施の緒に就くことになつてゐる。幼稚園の保育を了つて國民學校に送り込まれる子供達が、些のこだはりもなく、最滑かに新體制の教育に溶けこむやうにしなければならぬことは謂ふまでもない。されば幼稚園だけは特別の世界であるとして、舊態依然たることは到底許されざることである。如上の意味に於て、保姆諸姉が新體制の根本理念を明確に把握されて、益々保育報國の本領を發揮されむことを切望する。



皇后陛下の御巡覽を

幼稚園に仰ぎ奉りて

東京女子高等師範學校附屬幼稚園主事

倉 橋 惣 三

畏くも 皇后陛下には、本年十二月三日、東京女子高等師範學校並に同校内東京特設中等教員養成所へ行啓あらせられ、午前十時、學校へ着御。便殿に於ける拜謁、講堂に於ける全校の奉迎、學校長の言上の後、午前は正午まで、幼稚園、小學校、高等女學校の御巡覽、午後は三時まで、本校及び養成所の授業御巡覽の御順序を以て、先づ幼稚園に成らせられた。

この日は前後になき快晴。一天高く廣くぬぐひきよめられて、一片の雲翳だになく、秋の光り燦々としてふり注ぐが如く、秋のあたゝかみ和やかに包むに似て、まことに、國母陛下を迎へ奉る日の喜び、早曉より全校に漲りわたつてゐた。

本校玄關から幼稚園へ、初夏には籬長く紅白の薔薇咲き盛るあの鋪道を、下村校長の御先導にて、皇后太夫、女官長、行啓主務官、文部大臣、厚生大臣その他の扈從者を従へさせられて、靜かに玉歩を進ませられた。その途中に、特設養成所生、戦歿軍人軍屬未亡人の寄宿寮に母と共に住む幼き遺兒達が、寮の保母と共に列んでゐる。又幼稚園玄關に近く園兒の一群が奉迎してゐる。私は講堂の儀が了つた後、急いでその場へ先行して、遺兒達の傍に添ふて立つた。私は、深い最敬禮から頭を上げると共に、その遺兒達に御目を賜ふ、陛下の御いつくしみを拜して、再び、恐懼の胸をかゝめた。



幼稚園の御巡覧は、平常のまゝにこの思召をもこゝしつゝ、次の順で御案内申上げた。茲に、當日豫め奉呈した、授業の概要の中から幼稚園の部分を抜萃する。

附屬幼稚園

○自由畫「慰問繪はがき」

年少組 幼兒

保姆 及 川 ふみ
 保育實習科生 三名

圖畫のための圖畫でなく、繪はがきといふ實際の用途に結びつけて描かしめる。尙之れを皇軍慰問に用ふるこゝによつて時局下の實踐教育を志す。

○粘 土 製 作

年少組 幼兒

保姆 清 水 光子
 保育實習科生 三名

在來の自然粘土に代へて、古新聞紙ミ糝糊ミで、容易に作り得られる所謂紙粘土を用ひる。物資活用の一つとして本園の考案による。

○誘 導 保 育「時 計 店」 年長組 幼兒

(あき箱利用)

保姆 船 田 ふさ
 保育實習科生 四名

手技のための手技でなく、時計店を目的として製作せしめる。一面、時間の基礎的經驗を與へ



ると共に、國民學校理科への基本的關係を目ざす。物資利用のため空箱を用ふ。

○唱 歌 遊 戯 年長粗幼兒

保 姆 小 鳥 そ の
保 姆 町 田 行 子
保 育 實 習 科 生 七 名

歌詞は國民的なるもの、勤勞的なるもの、情操的なるものを選び、遊戯は動作の優美さいふ他に、大筋肉の力強き運動を主とさせる。

一、「こつきふれふれ」(最新作曲幼稚園唱歌集所載)

- (一) こつきふれふれ ふれふれこつき
あかいたすきの へいたいさんが
いつてきますと げんきなかほで
きよしゆのけいれい いさましい
- (二) こつきふれふれ ふれふれこつき
しるいたすきの おばさんたちが
かつてかへれと げんきなこゑで
みんなではんさい いさましい
- (三) こつきふれふれ ふれふれこつき
いつてください おくのために
かつてください おくのために
ゆくもかへるも いさましい

二、「みちぶしん」(新體幼稚園唱歌所載)

- (一) つるはしでほるひと



しやべるですくふひと

みちぶしんのこうふさん

いつしやうけんめいはたらく

(二) げんきのいゝかけこゑ

ひやうしなうまくあはせて

おほぜいのこうふさん

いつしやうけんめいはたらく

(三) おととひはむかふかぞ

きのふはここのかぞ

みちぶしんのこうふさん

いつしやうけんめいはたらく

三、「小鳥のおはなし」(最新作曲幼稚園歌集所載)

(一) ことりとこどりのおはなしは

ちゆんくちゆんくえだのうへ

むかふのおやまのてつべんに

まつかなきのみがなりました

あまいおいしいきのみです

(二) ことりとこどりのおはなしは

ちゆんくちゆんくえだのうへ

むかふのおがはのかはべりに

かはいゝおはながさきました

うすもいろのいいにほひ



○砂場 あそび 年長組幼児

保姆菊池 フジノ

囑託上 遠 文子

保育實習科生 九名

自由創作の最好材料として、砂の價値を存分に發揮せしめ、殊に作業の繼續によつて、聚注ミ根氣ミの鍊成に機會を與ふることを主眼とする。

陛下には、たえず、貴くやはらかき御ほゝえみをたゞへさせ給ふて、室から室へ、机から机へ、幼兒から幼兒へ、御熱心に御巡覽あらせられた。その長くも御興味いさも深げに拜し奉るごこの出來た有り難さに、私はつい、御そばは近くいろくごこのを申上げた。保育の理なき、更めて御説明らしく申上げる必要もないごこであるが、その場その場の保育のごころを、保姆諸君に代つて申上げた。畏れ多くも陛下には、數々の御下問を賜ひ、更に畏れ多くも御手づから、幼兒の作品なきを取り上げ給ひ、第一の室では、クレイオン描きの慰問繪はがき、第二室では繪具仕上げの紙粘土製作、第三室では、木梓造りのトクイヤ店に列べられた空箱時計なき、わけても、ほゝえませ給ふを拜した。

遊戯室では幼兒達が「こつきふれふれ」「みちぶしん」を、歌聲も大きく、床音も高く、元氣一ぱいにおきつた。「小鳥のおはなし」を、曲もやさしく、振りもかはいくおきつた。前の二つは私の作詞であり、後ののはよね子さんの作詞である。私共の作が、御耳に觸れるのも畏れ多いごこであるが、陛下には、幼兒等がおぎり終るまで、長く御起立のまゝ御覽を給ふた。それから、遊戯室のテレスを経て遊園へ御先導申上げたのであるが、流石にいつもよりおきなしくつゝしんで、幼兒達の動きもなんさなく靜かであつた今までの保育室と違つて、こゝは一ぱいの日なたでいつもの通り自由に遊んでゐる。ブランコを高く漕いでゐる。廣場を駈けてゐる。塵の上でまゝごこに夢中になつてゐる。三つ列んでゐる砂



場は、これも大入りで、粗けずりの中積木を使つて、レールが出来、トンネルが出来、壘壕が出来、トウチカが出来、そうした中で、敬禮も至極略儀で御ゆるしを頂いて、さつき遊びに没頭してゐる眞に幼児らしい幼児連も少なくなかつたらしい。ここでは、私達も、畏れ多い言ひながら、秋晴の野に子ども等さいつしよに侍して立つてゞもゐるやうに見えたことであらう。そして、すべり臺の下で奉拜してゐる二人の泰國留學の保育見習生サワツトミタノムミのこを申上げたのこ、砂場の中で幼児と共に山を築いてゐる、戦歿將校未亡人山村靜子實習科生のこを申上げた以外には、たゞ純、たゞ眞な、幼児の世界そのまゝの裡に、貴き御時をお過ごし頂いたのであつた。

斯うして、光榮の二十餘分が了つたのであるが、一旦本校便殿に御休憩になつた陛下には、再び、小學校、高等女學校も、國民普通教育の實際に、御心を垂れさせ給ふたのである。六年前の行啓には、講堂の式へ臨御が主で、陳列室で生徒兒童幼児の成績品を御覽に入れたゞけであつたから、この大塚の園舎に親しく玉歩を迎へ奉つたのは、この日が最初である。明治九年お茶の水に創設の時から、皇室の特別の御恩寵を被つて居り、代々の國母陛下の行啓を仰いだこと、園として誠に言葉につくし難い感激であるが、更に又思へば、この恩寵は、決してこの園だけへの光榮ではない。全國の幼稚園、ご申すよりも、全日本の幼児への深き御心に他ならないのである。これは、全國の幼児教育者全體が均しく感じてゐて下さることと思ふし、私共も、その心にならなければならぬことである。従つて、御巡覽の御内意を拜した時から、私は、この幼稚園、この幼児を御覽いたゞくさいふよりも、日本の幼児の幼稚園生活を御覽いたゞくこと考へた。私としては、召されて連續の御進講の光榮に浴させて頂いてゐた時に申上げた言葉の節々を、今この實際へ結びつけさせて頂きたいといつたやうな、そうした思ひも潜まないでもなかつたのであるが、それよりも、先づ希つたことは、日本の小さい幼児等が、如何に健康に、如何に幸福に、幼稚園に於て楽しんでゐるか、それをこそ御目にさめさせられて頂き度いのであつた。私はこの心持ちを、行啓に先立つて、園の保護者達にも語つた。そうして、この日、あの御機嫌うるはしく御巡覽下さる御心は、日本の幼児の幼稚園生活全體の晴々しさを楽しさを、御感いたゞい



てゐることを拜した。

尙ほ、謹んで感激を記させていたゞくならば、この時局下、さきには、天皇陛下東京帝國大學に行幸を賜ひ、この日皇后陛下の行啓を仰ぐ。國事多端の中に、特に教育のことに斯くも深き御心を垂れさせ給ふこと、まことに恐懼感激にたえない次第である。教學のことに常に一刻も忽せにすべからざるは言を俟たないところとして、國運愈々隆昌、その内に充ち、外に互るべきもの、方に比なく、今に處するこの忽甚大なると共に、後に備ふべきの計深遠ならざるを得ない今日、教學尊重の要、實に無限といはなければならぬ。加ふるに、この至上の聖慮を拜す。任教學の一端にあるもの、一層の奮勵なくしてはあり得ないのである。而して、一千六百年奉祝の式典に際しても、又教育に關する勅語喚發五十年の祝式に際しても、全國幼稚園教育者の代表として多數の幼稚園保母諸君は之れに列する光榮を擔ふたのである。苟も皇國の幼兒をその手にゆだねられ、聖恩の下、國民保育の重任に當る者、今年は誠に感激の多い年であつた。

午後は、本校ミ特設養成所ミの十に餘る教室授業ミ、運動場に於ける體操ミ遊戲ミを御巡覽遊ばされ、その間、特に奮起してミに生徒ミして學びつゝある遺族未亡人等に奉拜をゆるさせられ、午後三時を過ぎて全校奉送の裡に還啓遊ばされた。幼兒等はその後で、迎への母等に伴はれて、平生にもまさる嬉嬉たる後姿を見せて歸つて行つた。有り難い「皇后陛下の御菓子」を、うれしく抱きしめて。げに、子さもらの今日の喜びは、みんなに深かつたのであらう。一人々々の小さい胸に、みんなに強い感激を湛えたことであらう。その純白の心に、みんなに輝やかしく此日を印象したことであらう。

幼兒等畏みつゝも嬉しげに

小鳩のやうに遊びたはむる

これは、下村校長の示された、當日の感吟である。幼兒等の喜びミ、感激ミ、まことに歌ひつくさされてゐる。幼兒等成長の後に、この歌によつて、光榮の幼時を思ひ出すであらう。

(昭和十五年十二月七日謹記)

國民學校の實施を前

にして幼稚園に望む

東京女子高等師範學校附屬小學校主事

堀 七 藏

國民學校は皇國の道に則つて普通教育を施し國民の基礎的鍊成をなすことを本旨とする。即ち(一)教育の全般に互りて皇國の道を修練せしめ特に國體に對する信念を深からしむること(二)國民生活に必須なる知識技能を體得せしめ情操を醇化し健全なる身體を育成すること、(三)我が國文化の特質を明かならしむること共に東亞並世界に於ける皇國の地位と使命とを自覺せしむることを期するのである。この本旨を達成するため新たな教科組織によつて國民を鍊成するのである。即ち國民精神の徹底昂揚をなすため國民科を設け、科學的精神の涵養をなし國運發展に資するの素地に培ふため理數科を設ける。また心身を鍛鍊して獻身奉公の實踐力に培ふため體鍊科を設け、藝術技能及情操の陶冶をなし國民生活の充實に資するために藝能科を設けるのであ

る。更に職業に對する基礎的教養を施し國運發展の素地に培ふために高等科に於て實業科を設ける。そして是等の教科はそれ々々その特色を發揮せしむること共に相互の關聯を緊密にして國民鍊成の一途に歸せしめるのである。而して國民科の要旨を達成するために國民道德の實踐を指導し、皇國の道義的使命を自覺せしむる國民科修身、我が國の言語即國語の理解力と發表力とを修練せしめ國民的思考感動を通して國民精神を涵養するため國民科國語を設ける。更に我が國の歴史の概要を理會せしめ皇國の歴史的使命を自覺せしめるために國民科國史、我が國土國勢及諸外國の情勢につきてその概要を會得せしめ國土愛護の精神を養ひ東亞及世界に於ける皇國の使命を自覺せしめるために國民科地理を設けるのである。即ち是等の科目はそれ々々その特色を發揮せしめること共に相互の關聯を緊密にして國民科の

要旨を達成すべきものである。理數科に於ても同様である。即ち理數科算數と理數科理科とはそれ／＼その特色を發揮し相俟つて理數科の要旨を達成すべきである。體鍊科に於ても藝能科に於てもそれ／＼の科目はその特色を發揮し相俟つて教科の要旨を達成すべきものである。この新しき教科組織によつて教育をなし、以て國民學校の本旨を達成するものである。要するに國民學校は義務教育年限を八年となし、皇國の道の修練を旨として國民を鍊成し、國民精神の昂揚、知能の啓培、體位の向上を圖り、産業、國防の根基を培養し、内に國力を充實し外に八紘一宇の肇國精神を顯現すべき次代の大國民を育成する教育の新體制である。

二

而してこの新體制による國民學校が來る四月より實現せられるのである。國民學校の教育擔當者は勿論、幼稚園保育に當るものも十分級上の國民學校教育の眞精神を把握せねばならぬ。従つて幼稚園保育に於ても、國民學校が皇國の道の修練を旨として國民を鍊成し、國民精神の徹底昂揚、知能の啓培、體位の向上を圖ることを大目標とすることを十分自覺して、保育の實際に當らねばならぬ。國民學校に於て國民精神の徹底昂揚を圖るのであるから、幼稚園保育に於ても國民精神の萌芽を育成することに最善の努力を致

さねばならぬ。勿論幼稚園保育に於て國民道德について教授するが如きは百害あつて一利なしといはねばならぬ。寧ろ幼兒の生活を指導して善良なる性情を涵養し國民道德の實踐をなさしめることを緊要である。また國民學校に於て知能の啓培を圖るのであるから、幼稚園保育に於ても幼兒の知能を啓培するが爲め躑及初歩訓練を重視することが肝要である。茲に躑及初歩訓練といふのは單に道德方面のこゝのみを指すのではない。幼兒の生活全般に互つての知能の啓培をなすべきことを意味するのである。事物現象について内容のない知識技能を傳授するのではなく、事物現象を觀察し處理するの態度を指導すべきである。また國民學校では體位の向上を圖ることに頗る努力するのであるから幼稚園保育に於ても幼兒の心身を健全に發達せしめることに全力を傾注せねばならぬ。幼稚園令第一條に、幼稚園は幼兒を保育して心身を健全に發達せしめ善良なる性情を涵養せしめ云々あるが、從來の保育に於ては兎角保健養護方面が輕視せられ、徒らに小學校教科書にあるが如き知識を具體的内容なしに修得させることに流れ勝ちであつた。國民學校にては「國民生活に必須なる知識技能を體得せしめ」云々ある位である。これは從來の小學校教育に於て觀念的抽象的な知識技能を授ける弊が多分にあつたことを警しめ、體験を基礎とせる具體的な知識を修得せしめ

ることを強調せるものである。故に心身を一體として教令し、教授・訓練・養護の分離をさくべきことを新國民學校教育施行規則第一條にも規定してある。尙ほ教育審議會の答申「幼稚園に關する要綱」の説明に次の如くあることに特に留意せねばならぬ。幼稚園の任務は申す迄もなく幼児の身心を健全に發達せしめ、善良なる性情を涵養し、家庭教育を補ふことに在るのでありますが、將來一層斯くの如き保育内容の刷新を期することとし、純真なる性情の涵養と共に特に一層幼児の保健・養護に留意して強健なる身體の基礎を作るに力め、知的負擔を多くするが如きは嚴に戒しむべきであります。又躰を重視して日常生活に於ける正しき習慣を得せしむるに力め、國體に對する心情を啓培し團體生活を指導する等は極めて大切を考へられるのであります。この點に十分留意せねばならぬ。これは國民學校の實施を目前に控へて特に幼稚園保育に切望するところである。

三

本年四月より國民學校の新教科書が發行せられる。それは初等科第一學年及第二學年用のものである。ヨイコドモ上下、ヨミカタ一・二・三・四、それからカズノホン一・二・三・四、ウタノホン上・下、テホン上下、エノホン上下、兒童用書が發行せられる。更には等の兒童用書に對して教師用書が發行せられる。即ちヨイコドモ上下教師用、ヨミ

カタ一・二・三・四教師用、またカズノホン一・二・三・四教師用が出來、更にウタノホン上下にもテホン上下にもまたエノホン上下にも教師用書が出来る。尙ほ「自然の觀察」一二の教師用書が出来るのである。それで四月までに使用出来るやうに是等の新教科書が編纂せられ發行せられるのである。幼稚園に於て是等の新教科書について國民學校の教育内容を大に研究せられることは結構である。しかし是等の教科書を幼児に購入させることは禁物である。國民學校兒童用として各種、それ／＼三百萬冊以上發行せねばならぬのである。家庭や幼稚園では是等の新教科書を購入するときは國民學校の兒童全部に行渡らないことになる虞がある。従つて國民學校教科書は切符制度の如くして配給せられることになることを幼稚園では十分承知して居られねばならぬ。國民學校新教科書發行のため用紙の統制をなし印刷製本等の能力をこの方面に集注するのであるが、何分多種類の教科書を頗る多く供給すべき必要に迫られてるので餘分のものは到底發行出来ない實情にある。故に國民學校教科書の圓滑なる供給を幼稚園の方から妨げるが如きことは嚴に慎まねばならぬ。

新體制下の幼稚園

まへがき

倉橋 惣三

○ 先づ新體制下の幼稚園は、保姆諸君が新體制を實踐する
ことから始まる。新體制を上から受けても、世の中が新體
制になつても、又、自ら新體制の理解がくわしく、認識が
明かであつても、實踐によるこまなしに、幼児に新體制の
幼稚園を正しく與へることは得られない。

○ 次に、新體制は舊體制に對する言葉であるが、たゞ舊體
制を變るだけの意味ではない。況して、舊體制のもつてゐ
たものを奪ふだけではない。即ち、變つた／＼、減縮々々

を意識するだけが新體制の本義ではない、新は眞であり、
眞は不眞を排除はするが、排除だけでなく、眞を發揮し、
眞を充實させるこそ眞である。假りにも、消極的意識に止
まるものであつてはならない。物資も節約する。生活も自
肅する。しかし、それは決して消極的なだけの生き方では
ないのである。新體制はその生活意識に於て、どこまでも
積極的である。編輯部からのお願ひによつて、幼稚園保育
各方面に就て寄せて下さつた御意見は、まだ拜見してゐな
い。従つてさういふ過去、また、さういふ現狀に對して警
告せられてゐるかを知らないが、警告としての言葉、つかひ
がそんなであらうとも、新體制を迎へて、新體制に生きよ
うとする心のもさが、あなたにも大に積極的なものである
ことを疑はない。また、そこを汲みこつて讀まなければ讀
み誤りである。

さて、新體制は眞體制であるといつた。たゞ、こゝに明瞭でなければならぬことは、その眞は「今」に即する眞生活でなければならぬことである。「今」をみつめて誤らざる眞でなければならぬことである。教育は徹頭徹尾國のためである。國の「今」に即する教育のみが、眞の教育である。

「今」は、さういふ教育をし、さういふことを目ざして教育しなければならぬのか。新體制下の教育は、その「今」の眞に即する教育である。幼児教育亦然り、幼稚園の經營亦然りである。

尙、申添へて置きたいことは、諸氏の寄稿は編輯部からの提出問題に對して與へられたもので、新體制下の幼稚園といふ全面的問題に對して全面的に答へられたものでないことである。若し、さういふ出題をしたら、各氏の選ばれる問題は別の點を先きにせられたかも知れない。又必ずや、こゝで言はれてゐること以外に廣くも深くも説き及ぼされることがあつたに相違ない。即ち、新體制下幼稚園といふ廣い問題に對して、こゝで言はれてゐる點だけに言を限られたことは、諸氏の責任ではない。勝手な方面をそれ／＼に割り當てた編輯部の責任である。この點、少しでも諸氏の御迷惑に

ならぬやう、私の懸念から念のため一言致して置きます。

保健方面の使命について

醫學博士 廣 瀨 興

新體制下に於ては、家庭生活全般に互つて自由主義的個人主義的考へ方を廢し、一層高度の國家社會主義的全體主義的考へ方が要求せらるゝであらう。従つて、家庭生活に關聯を持つ幼稚園に於ても當然この線に沿ふ保育が實施せられねばならない。尤も、幼稚園其他保育施設は在來の一般生活形態から云へば既にこの考へ方を多分に抱合して居つたのであるが新體制下に於てはこの點、今、一層、精神的にも組織的にも強調の必要を認めるのである。

保健的方面からは一個人の幸福さといふ觀點より以上に全國民の健康増進、體位の向上を圖り、將來の民族素質の優勢を望むならば青少年期或は成人期の對策は既に手遅れであつて、如何しても、乳幼児期の對策が絶對的に必要である。體質の強弱素質さ云ふことが人間一生の健康生活に極めて重大なる關係にあることは今更、贅言を要しないのであつて、極端に云へば、乳幼児期に正しい保健的生活を過

ごせばその人は一生、目星しい疾病に患らず、よし患つても簡単に治癒し、引いては將來に素質の優良なる子孫を残すこととなるのである。新體制下に於てはかかる素質の子供を要求するのである。斯く考へるべきは幼稚園に於ける保健的役割は一層重大なる。

然らば、新體制下、幼稚園に於て保健保育は如何にすべきかといふ問題になるが、元來、我國民保健上、直接間接重要な影響を及してゐるのは、榮養問題、結核問題、性病問題、寄生蟲問題の四つである。而して、家庭に於てこの問題に對し、正しい知識を有せしめることが先決問題であつて、それは誰れが何處で爲すべきか云へば現在の我國家庭生活の現状に於ては幼稚園其他の保育施設が最も適當である。母の會或は保護者會を通じて行れる時は極めて有効的である。

更にこの四つの問題解決の基礎的要件として、(一)日光、(二)空氣、(三)水、(四)氣象的影響(溫度、濕度、氣動)等の環境を衛生的ならしめ、(五)正しい榮養の知識を與へ、更に、(六)傳染病(小兒傳染病、結核、性病、寄生蟲病等)の家庭的豫防を徹底せしめる方途を指導することである。其の目的を達するためには保護者會に對し之等の正しい知識を注入すること、幼稚園に於て實行する之等要件に對する健康保育實施に協力を求めることが肝要であ

る。

日光浴、薄着勵行、寢衣着換、睡眠時間の適正、入浴、手洗、爪切り、散髪、耳垢取り、正しい姿勢、視力障得防止、共同給食等各種の健康教育を組織的に實行すること。同時に、年四回の定期健康検査の他に全園兒の結核に對する精密検査(マンツウ氏反應、レントゲン検査、赤血球沈降速度測定)、性病に對し血液検査、井出氏反應、寄生蟲のため検査、トラホーム検査は是非實施せられねばならぬ。又、チフテリア、百日咳、麻疹、疫痢等小兒傳染病の豫防處置を構すること。園兒の畫食は必ず母親の参加を求めること等が實行されべきである。

斯くするときは、園兒自身の現在將來の健康問題は勿論、母親の一般保健の教養を高め、更に其の母親の屬する隣組の保健知識の向上を期待することが出来る。即ち、將來、隣組組織が活動する時機に於て、少くも子供の問題に關しては其の指導的機關として重要な役割を持つべきものが、新體制下に於ける幼稚園其他の保育施設である。このことは勿論、保健問題のみならず、教養方面にも云ひ得るのであるが、我國の如き、消極的治療醫學的施設のみ發達せる現状に於ては一層、重要な問題であつて、將來の幼稚園の責任たるや重且つ大である。

身體的方面のこころにつ

いて

東京・大和郷幼稚園 坂内ミツ

世を擧げて新體制に則るべき現今である。幼稚園に於ても又大に考へて御趣旨に従ふべきである。殊に身體的方面の發育に關しては充分考慮せねばならぬと思ふ。

振り返つて三十年近く保育界で歩んで來た道をお顧するに、今俄かに新體制を叫ばねばならぬ點が何處にあるのであらうか、合點が行かないのである。若し幼兒を保育する事はほんの自分の趣味であり考へたり、又自分の生活の糧にする職業に過ぎぬのみ考へて居た人があつたすれば、それは全く誤りを捨て、新體制に即すべきであるが、私共から考へるさむしろ舊態にかへれさいひ度いのである、然し根本精神に變りはないとしても其細かい點になる、改良しなければならぬ事が多いのである。

身體的方面の事を考へて見るに幼兒の時代はやがて學校教育を受けるべき素地をつくる時代である、國民學校になつても勿論個人の體質、體格を重んじて發育を進めるのであるが、大勢を一齊に教育するのであるから、或點までは同

一の型にはめねばならぬ事になる、運動會其他の時でも一齊に揃ふさいふ事が大切である、個人々々が精一つばいの活動をして各自によく發育して居るさいふ見方をする人よりも、よく揃つたよく一致したさほめる人が多くあるばかりか、教育者自らも個人の無理は念頭に置かず只よく揃ふるだけを目的として居るさいふ有様である。若しこれが事實であるならば、幼兒は國民學校入學迄に個人の體格をして理なく一致し得られるやうに、又無理な運動をしても身體に障らぬやうにして置く事が最も大切である、國民學校以上になれば教ふべき事が多くて個人々々を考へて居る暇がない、そんな偉い先生にも個人々々をよく觀察して其人に適した教育を施す事は望まれない事である。又家庭では唯一人の子供を見て居る爲めに比較研究する事が出来ない。兄や姉があつても其年齢の時の事は忘れて居るので比較が出来ない。個人々々がよし觀察されよくわかるのは獨り幼稚園だけであるさいつてもよい、幼稚園では心身を伸びくさ發揮させ型にはめない事が必要である。自由自在に伸びくさ身體を扱つて居れば急に身構へをしたり急に身をかはしたりする事が出来るし、長く靜肅にして居る事も出来るものである。身體を無理に使ひ無理な姿勢を長くつゞけるさ、其事だけは上手になるかも知れないが、他の場合に應用が利かぬ。尙其度が越えるさ身體を損ねる、其

實例は尠くないのである。

自然の態度

歩行、駈け方、スキップ等自然に任せろがよい、人によつて歩きぶりの異なるのは其骨格が違ふからである。要領の分らぬ人には教へねばならぬが無理にさせてはならない、甚だしく異常なのは骨格が異常なのであるからこんな注意見してもなほならない、専門家に診察して貰はねばならない。自然にさせて置いても指導が悪いと一方に偏する事がある。遊戯の時圓陣をつくるにしても右廻りだけを續けるも身體の右側が伸びて平均がきれなくなる、輪が小さい場合は一層甚だしい、交互に左廻りに行進させねばならない、スキップも其通りである。スキップの時は樂器に合はせるばかりでなく、手の振り方、腰の動き方、に注意せねばならぬ、出来ない人も練習によつて上手になるのではあるが、出来ない人を無理にさせるも腰骨が整はなくなる。スキップが出来ないといつても其原因は色々ある。早く其原因を見ぬいて其原因によつて方法を講じてやらねばならない、意志が弱くはにかむ爲め人の前では出来ないのか、腰の据りが悪いのか運動神經が發達しない爲めか人によつて異なるのである。いもむしごろ／＼や、まゝごまのやうにシャガム遊戯も正しくシャガミ得ない人には強てさせるのは宜しくない。

體質の相違

同じ食物で同じ心持ちで育てても兄弟の體格が皆違ふのは體質の相違で生れながらにして違つて居るのである。鶏卵を食べるも中毒を起すなごは其著しい例である。科學的に研究された名醫でも其人の體質が特異性である事に氣がつかず手術を施して大心配をなさる例は尠くないのである。

發育が悪い肥らぬも心配する人には食物の分量の少い人もあれば、榮養分殊に蛋白が多過ぎて組織にならず、必要以上に燃焼が盛んなために肥れない人もある、又よく肥つて居るも喜んで居る人の中には異常肥満で體質の悪い人もある。之等の體質の違ひを認める事は日常の行動をよく觀察する事と自由畫に表はれた處を觀る事、身體検査をする事に依りて分るので、個人々々に無理ならぬ内に其長を伸し短を補はねばならぬ。蓋し言ふべくして行ふに難い事である。けれどもさうしても行はねばならぬ事である。

運動の三要素

或る大家より指導を受けた所に依るも運動の三要素は

一、投げる事

毬投げ 紙飛行機さばし、

石を抛りたがるのは自然の要求であるらしいが、危険が伴ふので特別の施設の無い限り道徳上させてはならぬ、そ

れに代るべきバスケット、毬を打ちつける的なぎを用意すべきである、又廣告の紙や讀み古しの雜誌なぎを適當な大きさ(長方形)に剪つて置けば盛んに紙飛行機をこぼして遊ぶものである。

一、跳ぶ事

繩跳び

跳ぶ設備

一、登る事

斜面を登るやうな坂をつくる

階段

木登り——自然木、直立の丸太

以上の設備をして置けば幼児は獨りでに練習して上達するのである。要は設備と其利用にある、之を利用させるに ついても指導する先生の考へ方に依つて異なるのである、即ち先生其人の性格に依る事は勿論であるが、年齢によつて異なる事は争はれない事實である。若い人は要心深く年の多い人は危なからず大膽にさせるやうに心掛けて丁度當を得る事になると思ふのである。

幼稚園の情操教育

大阪府海への幼稚園 高濱キミノ

新體制下の幼稚園の題目のみにて情操涵養について充分なる意見を發表せよとの御下命を頂きましたので、止むなく、我園に於て實施致して居ります點を聊か述べさせて頂きましてお教へを願ひ度い存じます。

近來新體制下の幼稚園さか、新體制による保育問題さか、從來の保育過程の反省さか、保育の本質を如何に新體制の理念の下に活かすべきかさか、保育者としての臣道の實踐方法さか、いろいろの方面に於て研究されて居ります事は時局下の今日最も緊急なる問題であらう存じます。さて茲に一般人民は物資の不足だ、代用品の研究ださ八ヶ間敷申して居ります、中には家庭の職業によつて父母の職業の變化なごから幼児に及ぼす影響は思ひがけない深い所、もつと機微の點で性情に迄も及ぼして居る様に思はれます事は私達の最も憂ふる所であります。故にこの重大時局を考へ今日の事態に即して幼稚園が其責務を充分認識するのみならず、現實な任務を情操涵養の上に、實踐實施して皇國の礎石を作らなければならぬと思ひます。

或る學者の説に曰く、獨逸では今日鐵石の意志を以て巨大な戰爭を遂行して居りますが、文學や、音楽は、感じの細かいものが讀まれたり、演じられたりして居ります。戦地でも繊細な感じのものを讀まれ傳令將校の從軍日誌なごも詩人的な敏感さで書かれて居る。感傷性や怯懦な感じは出て居る

ません。繊細な感じを以つたからこゝろつて勇氣が挫けるものではありません。この二つは兩立するものです。剛健はよろしいがその粗暴になつてはいけません。粗暴な神経はあるシヨックによつて一瞬に病的になる惧れがあります。こゝろ書かれてあります。

その意味によつても幼児から善的感覚の訓練をしておく必要があります。殊に戦争中で、人心がさかく殺伐になりやすい今日却つて情操教育が特に大切なのではないかと思ひます。保育者は其限度を考へて實行力が弱められたり、病的な類廢的なものになつたりせぬ様其基礎的鍊成をなす様心掛けねばなりません。而して温かい心づかひを以て人生を知り、道德的感覚を以て、人生に興味を見出したり且つ建設的な意慾なごも生れて來るのではないかと思ひます。日本の武士道でも物のあはれを知つてゐるものが立派な武士道とされてゐます様です。

次に從來實踐實施して居ります情操涵養の二三を御參考迄に掲げて見ませう。

(一)自然に親しむ

常園の環境は幸ひ自然に恵まれ四季共に幼児の自由な遊び場となつてゐる。お天氣のよい日、日光の子きもこなつて自然の下に、四季を識らしめ四季を楽しましてゐる。

春、暖かい日光さ軟かい空氣、かぐはしい花の香ミ、愛

らしい小鳥の歌を聞きながら草の如く、花の如く、蝶の如く、伸び、又美しく開き、自由に舞ひ遊ぶ、そしてあかろい心、あたゝかい心を養ふ。健康の爲ばかりではない。

夏、爽やかな心地のよい時、林縁に、細道に、小川の岸に、團樂して話し合ひ、花を摘み、裾をかぶつて小川の高を追ひ、磯をつたふて貝を拾ふ。偶々釣らずして鱒、カレイ、ハゼ等を手づかみにし實物を以てにこ／＼と問答をはじめめる。こうして自然そのものの眞摯な感化を得させる事も出来る。

秋、子供の秋、歡喜の秋、澄んだ空氣、高く遠い秋の空、木の實、草の實、稻の豊熟、落葉、自然の秋は子供等の爲めの絶好の樂園である。大空を仰ぎ木の實を拾ひ、美しき木の葉を集め、蟲を追ふて喜び、稻の穂の實を觀て感謝し、こうして、この時代の收集本能や狩獵生活時代の情趣を味ふてゐる。

冬、霜を踏む朝、氷の張つた池の面、つら／＼を尋ねる姿、松風に耳を傾ける子供等は詩人か、俳人か、自然の偉大さの中に何かを求めようとする。冷たい風に觸れながら手を引いて丘に上り、横にはつた大木を安んじて攀ぢ、圓を畫いて相撲をこり、枯枝を劍に鐵砲にして戦争ごつこなご冬の遊びにふさはしい遊びを求めてする、寒さ冷たさも感ぜぬ様に力一つばいの鍛鍊を始める。そして自然に剛健

の氣を養ふてゐる。

以上の如く子供をして充分に四季を識らしめ、樂しましめ、活きた自然と活きた接觸をする事によつて子供に最も適當な玩具として、自然玩具程適當なものはないと思ふ。こゝとして神よりくる自然の尊さ、有難さをしみじみと感ぜさせる。

(二) 神社參拜

與亞奉公日、十五日、お祭り、誕生會、等に參拜し崇神の念と感謝の念を養ふ。

(三) 誕生會

健康にて誕生日を迎へる事の出来る歡び、皇恩、親の恩、友達に對する美しき純情、先生が幼兒に對する愛情や有難さを自然に感ぜしめる。

(四) よい音楽、美しい繪畫の鑑賞

レコード、ラヂオ、なごにより名曲を觀賞する。美しい繪畫は室内に或は團樂の折觀賞せしめて美しい情を養ふ。

(五) 慰問文、慰問品の製作、遺家族慰問

戦地にある家族や、親善の人、或は近所、知己の人々に送る慰問文慰問品を作り又は先生と一所に慰問に出かける、進んでは一般兵士の爲めに作つて送る。製作中は之をもろふた兵隊さんみんなに喜ぶだらうか、嬉しいだらうなあと思ひくゝの感じを語る中には兵隊さん有難うの歌なき誰云

ふさなく口ずさみ、室内はたちまち大聲揃へて感謝の歌を唱へてゐる。

(六) 動物飼育

山羊、豚、犬、鶏、鳩等々とお友達になつて遊ぶ朝はごの幼兒もきまつて食物をやる事を忘れない。色々の物語をしながら、動物も親しいお友達の近よる事を喜び暫し何も書き盡せぬ雰圍氣にひたる。動物愛護も忙しく接近する事によつて養はれる。

(七) 園藝

毎日園丁が花畑に、野菜畑に働らいてゐる。種を蒔く、灌水する。肥料をやる。美しい花、新鮮な野菜なきの發芽、發育する様を觀察する。自分達も何か作り度いさ云ふ氣分になる。二十日大根、菊菜、朝顔其のほか容易に出来るものを蒔いて喜ぶ。出来上つた作物は常食に、時としてお母さんのお土産に持ち歸らしめる。自分達の畑々を見て喜ぶ。一粒の種も大切にせねばならぬ事を知る。上から踏んではならない可愛想だ、枯れてしまふ、云つて自然に愛する様になる。共同作業をなす事によつて同情同感を共に味ふのである。

(八) 畫食

畫食については先年記載致しましたから略しますが先生やお手傳の人が温かい心を込めて用意をして下さる事を、

幼児ながら感謝してゐる。先生おかししいいな、又明日もこんなの作つて頂戴な、なまゝお母様に甘へる様に又の日の約束をする事もある。幼稚園の御飯はおいしいわ、先生の作つたものは何でもおいしいと思へられる。これでこそ知らず／＼の中に偏食の矯正も出来るのである。

(九)お掃除

自然物の多い庭は年中落葉がある。毎朝小さい園丁に先些も交じつてお掃除をする。廣い庭は掃く所もなかく／＼多い。せつせき大人も及ばぬ程の力にて片付ける。折には美しい落葉を見て箒を投げ出す事もある。拾ひ集めた落葉、枯れ枝などは物資節約の折柄一定の場所に集めて燃料にする事を忘れない。

以上はほんの例に過ぎないのであります。保母は絶へず頭を働かせ、今日の現實に對する要求を切迫さに驅られ其大任に對し其責務を實行實施して行かねばならぬ。すべて何事をなすにも大御心に照し夫々の立場に於て一舉一動充分なる注意を拂ひ必ず御期待に添ひ奉る様心掛けねばならないと思ひます。

當園に於ける幼児の躰に

ついで

悠久二千六百年曠古未曾有の聖典に列するの光榮に浴し、胸に迫るもの一入多き中に、わけても強く心を打ちて止まぬものは幼児たちのこころである。日々にその使命の尊きこころを感じつゝ、幼児保育にたつさはるわが身ながらも、今日ほご國家の大切なる一粒を預けられてゐるのださいふ觀を深くいたしたことはかつてない。

さうかして幼児たちを立派なる皇國民さなし、陛下の御ため御國の御ためにお立たせしなればさひたすら心に誓ふのである。

尙又愈々十六年度から實施されるこころの國民學校の新なる立場によつて、我が國教育が殆き根本から改められるこころになり、幼稚園も亦その改革に伴つて行かなければならず、遠からず幼稚園令の改正も實現されやうさしてゐる時、其の根本さもなるべき教育審議會の答申中の幼稚園に關する要綱中には、躰を重視し尙家庭との聯絡の必要さを明記されてゐる。

尙又我が國の制度や國民生活上新體制の實施につぎめてゐる今日さして、幼児保育の上にも當然反省と計畫が行はれて、保育上の新體制が樹立されなければならない。

元來幼稚園は躰の場所である。心身全體の活動から、健

康土から、情操涵養から、はた又智的活動上から、實際生活以上から、皆よい躰をつけんがための幼稚園である。然し以上種々の立場から、幼稚園の躰が新なる觀點から、従来より以上に重視されて、新體制に即應した研究も實施が行はれなければならぬ。

一、新體制下の保母

1、保母の心構

國民學校への適應さひひ、新體制保育さひひ其の對象たる幼児そのものは、只親のするまゝ保母のなすまゝである。故に家庭と充分聯絡をとりつゝ、躰の實際に當る保母の責任こそ實に重大である。之先づ第一に保母の心構を要視する所以である。これ故に保育方針の中に實施せねばならぬ具體的實際を示して、躰に對する保母の心構を確然とさせて置くことが最も重要である。右の上から先づ左の事項等につきて充分研究反省し保母陣容の整備につくす。

2、保母の再検討

1、勤務 出勤退出、執務、當番勤務等

ロ、保育法 保育案、生活指導、身の廻りの世話、個性調査、保育日誌等

ハ、環境の整理 清潔整頓、裝飾、保育準備、保母の言語動作、態度等

3、修養研究

静岡市教育振興精神(五事の誓)をもつて教育報國の誠を竭さんことを期す。

○研究保育、○躰に關する懇談

○市聯合校長會の事業と連絡をとり繼續的に修養研究をなす。

○年中行事誕生祝等の研究

二、躰の方法

1、保育精神

皇國の幼児たる自覺を強く培ひ善良なる性情、強固なる意志、緩まぬ實行の鍊成につこめる。

イ、國體に對する敬虔なる心情を啓培する

ロ、日常生活に於ける正しき習慣を得せしむ

ハ、團體生活の指導につこめる

2、保育方針

イ、皇室尊崇、敬神崇祖の念を養ひて、敬虔なる性情の涵養につこむること

ロ、幼児期特有の生活を豊かならしめて、健全なる心身の發達をはかること

ハ、自然に親しませ、運動と衛生とに留意して、身體の健康増進に努むること

ニ、環境の整理に努め、日常生活に於ける正しき習慣を得しめること

ホ、幼児の相互生活を通じて共同親和の精神を培ひ、團體生活の指導につこめること

へ、平素幼児の個性を觀察し、適切なる指導につこむること

3、計畫

イ、入園前新入園児保護者會を開催し、保育方針並に保護者心得を知らしめる。

ロ、入園児の家庭狀況調をなす

ハ、一ヶ年の養方要目編制

ニ、各學期始に各組別に其の組に於ける努力點を調査し特に注意する

ホ、月別の養方要項を作製し毎月各家庭へ配布し、家庭との連絡をこり其の徹底をはかる。

へ、毎週月曜日衛生實施日として幼児の身體服裝所持品等につき特に注意

ト、一學期に於ける養の結果に關し各家庭の調査を行ひ、其の回答により將來の養の參考をなす

三、指導

以上の計畫により家庭と連絡のほかに、日常保育の實踐につこめ、體位の向上に又善良なる性情の涵養に努力いたし、就中時局に關して、皇室尊崇、國旗尊重、物資愛護、廢物利用、興亞奉公日の趣旨徹底等其の他日常の禮儀作

法、さては團體的訓練等種々の方法をこつて其の指導につこむるも、中にも効果を認めると思はれる試みにつき、三實例をあげて説明する。

1、母の會の活用

何といつても幼児の生活の大部分は家庭の母親を中心としての生活である。眞に幼児の生活に最も深き接觸あり。偉大なる感化を與へるものは家庭の母親である。幼児の生活は母親の鏡である。故に幼稚園の幼児保育が、各幼児の生活を生活全體として向上して行く爲には、さうしても先づ其の母親を捉へなければならぬ。最も密接なる關係の母親を捉へ教育することによつてこそ、幼児教育の眞價は得られるのである。この見地から從來の母の會の總會、講演會或は講習見學等による母親の指導と共に、一方幼稚園に於ける、各組別幼児の實地の保育狀況參觀並に養に關する懇談會の實施である。これは母親たちをして、一般的な幼児といふものに對する認識を深める上に、非常に効果が大きい。かく一般的な幼児につきて養はれた眼によつて、わが子を見直し、他の子供と比べてわが子の特異性を掴む様にする等幼児教育の重要性を知らしめる。幸母親の理解と熱心によつて、毎回多數の出席を得、午前の參觀午後懇談會に終日を共にする等、相當効果をあげてゐる。中には甚食持參の熱心者もあり、又成績佳良なる組は僅か三名の缺

席を見たるのみのこともある。尙近頃喜ばしきは會員の時間勵行の實現にて幼兒の躰の上から誠に心強き事である。

2、生活指導

躰をするのに徒らに禁止的になつたり、無理な型に捕はれた作法を強いたりすることのない様にしたものである。どこまでも子供としての生活を活かし、子供全體の生活の中からつぎめて良習慣を作りたいを考へたものが左の隣組、繪日記、繪ばなし等である。日常の保育へ巧に織り込んで行く時に、幼兒のたのしみの中に何の苦もなく躰の効果はあげられてゆくのである。

1、幼稚園隣組 各組別に隣組を作り、更に園全體に及ぼし六組にて隣組を組織する。然して園全體としては、二年保育の年長組が組長格になり總て模範を示し、遊びの計畫等もなし他の組を補佐し誘導する。年中行事、日常の遊び又は外遊に於ける等種々の場合に良い習慣は養はれてゆくのである。

ロ、繪日記、主として年長組の子供に行はれてゐるが大部分の者は片假名を使用して、繪の説明もしてゐる。字の書けないものは繪のみにて自分で説明する。躰の上に又家庭聯絡の上に効果ある試みと思ふ。

ハ、繪ばなし、これは當園に於ける日常の躰事項を集めて繪ばなしに作り、保姆と幼兒の合同作製のものにて、幼

兒も非常に興味をもちて家庭との聯絡上にもこれ又効果の多いものとして實施してゐるのである。

幼稚園の情操教育

東京・本郷第一幼稚園 草野京

紀元二千六百年を迎へて新體制は理論でなく、計畫でなく著々實踐に入り、新制度に依る國民學校の誕生も目前に迫つてまゐりました。この國民學校が「皇國ノ道ニ則リテ國民ノ基礎的練成ヲナス」時に、名こそ國民幼稚園と改めないでも、事實新しい天地の空氣を呼吸する幼稚園で、朝に夕に前進しつゝ止まない幼兒を、私共幼稚園に於ける幼兒保育者は如何なる心構へで如何に保育したらよろしいのでせう、殊にその情操方面に就てこゝに少し考へてみる事に致します。

先づ第一に保育者即保姆自ら豊かな情操の持主たるべく自の修養と反省を努める事、日々多忙な社會生活がさもすれば大切な保姆自身の事をにし勝ちです。

第二には幼兒の環境即幼稚園の室廊下庭お座敷等が善良な性情を涵養すべく、常に充分整備されてゐる事、壁の額一つでも暗い物淋しいものでなく、明るく快活に、元氣い

つばい、又平和に靜かに、或は日本的な勇しい武者繪其色、其筆に至る迄充分すべき事です。

第三に保育の内容として年中行事を重んじる事(四大節を始め月々の興亞奉公日に至る迄)幼稚園の年中行事の中には子供のみの行事も國家的行事が含まれてあり小國民として幼き日から敬すべき事守るべき事は理論を離れて其身に、幼き魂に織り込まれて、浸み透てしまふべきです。

第四に幼児の生活として誘導指導する時に從來の保育五項目は渾然と組み合せて取扱はれると思ひますが其の中の談話、唱歌、及觀察は最も情操教育に資する事の多い方面と思はれます。(具體的に實例を述べる時間がないので略します)

最後にあまり當然の事ながら忘れてはをらない事は七歳の子が必ず七歳にお官詣りをする様に、幼児の全生活を保育對象としてゐる幼稚園では七歳の子に七歳の日の樂しさを六歳の子に六歳の日の樂しさをそして五歳の子の朝夕を五歳の子らしく存分に樂しませる事、やがて國民學校に入學して八歳の朝に八歳の日の鍊成を、すなほに受け得る様にする事です、「如何なる心構へで如何に保育したら」を申しながら後半の實際的な事を記す時間のなくなりました事をお詫び申上げます。

談話

東京・麴町幼稚園

柴田みどり

新體制、新體制下の政治、新體制下の經濟、文化等々、盛んに論じられてゐる今日に於て新體制下の保育、談話に就て検討すべき役割を命ぜられました私、及ばづながら偉い人なみに、さて新體制とは、議論するには改めて、新體制を勉強し、新體制の何たるかを見究めねばなりませんでした。しかしさてよく考へてみますと、これも六ヶ敷くて自分とは凡そ縁の遠い様に思はれた新體制も、もう其の一步はふみ出されてゐるのであります。そうして私達自身既に新體制の中に生きてゐるのであります。まことに日本全國民がこれを意識してゐないも、欲するも欲しないも、すべてがこの中に生きてゐる事に氣が付くのであります。男も女も、主人も妻も老人も赤坊も女中も小僧も、新體制の内に生活しはじめてゐるのであります手近いことに、幼い三つ子も回覽板のお使ひに組まぢやく出かけますし、おかみさんも常會で一言位は辨する様を見る事はあたりまへになつて來て居ります、そこで幼稚園だけ新體制を背中合せて居られませうか。ここに談話、お話し合ひでは絶えず日々に新體制の種々相が現實に表れて來てゐると思

ひます。この際、私達が今までの舊體制意識で幼児の話し合ひをするのであつたなら、それこそお國に對して、子供に對して申譯なき又勿體なき次第であると思ひます、談話こそ幼児の魂に直交ふれ合ふものでありますから、新體制の精神を保姆自身感得し、意識してなければならぬと思ひます。そこで幼稚園の今まで談話の目的とした處を其の効果を一度繰返してみます、まづ取扱ふお話の種類としては、滑稽なもの、寓話、お伽噺、神話、傳説、歴史の話、自然界の話、事實話、等々ありますが、總じて其の効果は(一)情緒的又は精神的生命を喚起し、子供をして、より善き事物を渴望せしめること。(二)好ましくならぬ習性を矯正すること。(三)想像力を發達せしめること。(四)言語と思想の表現を良好ならしめること。(五)人生に關して真正の知識を與ふること。(六)人類と世界とに對する博大な同情心を啓發すること。(七)社會奉仕の念を創造すること等でありました、でこれ等のお話の種類も又其のお話の内容のものたらす効果も新體制下であるから云つてけつして變る事なく其の儘であります。やつぱり情緒、想像、眞理、藝術美、道徳を目的とするのでありますが、さて其の目指す情緒、想像、眞理、藝術美、道徳、それ自身が新體制の光をおびて變つてしまつた事を認識しなければなりません。でありますから、國家的材料例へば神話、軍國美談、孝士、

忠勇烈士の話も多く取扱へば、新體制の云ふ「國家、國民の總てを集結し、一億同胞をして生きた一體として廣く大政翼贊の臣道を完ふせしめる」その目的に達した云ふのは早計であります、新體制は今生れつゝあるのであります。新體制の文化、新體制の政治、新體制の國防教育が生れつゝあるのであります。お話の目指す道徳も、藝術も情緒すらも新しいものが生れやうとしてゐるのでありますから、私達はよく見究めねばなりません、それ等の目指す庭を識り、そして舊い衣の自由主義、個人主義的思想からぬけ出し新しい衣、正しい新しい、衣をつけて、子供の前に出るならば誤る事がないであります、「新體制は大政翼贊だから來い、凡て滅私奉公内容を持つてゐるなら良い」云々かみせぬ様心掛け度いと思ひます。もう一つは國民學校案の内容に就いて新聞にみましたが今度の一年生のヨイコードモ、前の(修身)は、舊來の「べからず」主義を排してすべて子供自身を中心として生きた生活の中に實踐的な材料を多く取扱つた御座いました、この氣持こそ大切で、これからは實踐力行の機でありますから、談話の力によつて精神を豊富にするばかりでなく、「さあしよう」「さこまでもやろう」云云ふ意力を奮ひ立たせねばならぬと思ひます。勇猛心を喚起したいと考へます。新體制下の談話に以上の二つだけをまづのべてみました。眞に重大な事局に保育の任

に當ります者、心して、新體制の何たるやを二度、三度、四度、思ひめぐらし眞の精神を體して子供の前に語り度きもので御座います。

觀察について

東京・小川幼稚園 隈井玉子

新體制下の幼稚園云ふことについては、大變に澤山のことを考へなければならぬのではないかと思ひますが、さて何を考へたらいいのか、私共としてはあまりに問題が廣くて考へなければならぬことを考へることに終つてしまふ様に思はれます。

來る十六年度に於て、小學校は國民學校に改稱され、その内容全般に亘つて根本的に刷新せられ様として居る秋、幼稚園に於ても新體制に則り國民學校案にもごつき大いにその内容を改善しなければならぬことを考へるものに、觀察に於て多少今まで異なる取扱をして居りますことを書いて皆様の御批評を戴き度いと思ひます、以下述べますことは、先般小川小學校に日本理科聯盟の主催で理數科理科(幼稚園觀察)研究會を開いた際、當園で特別の取扱をなす様になつた動機を經過を發表したその要項、實際取扱の一部で

あります。

一、發表要項

今まで觀察云ふ保育項目がありながらさう云ふ風に取扱つたらいか云ふ點に多分の疑問をもち、又實際に取扱つて見ても觀察らしいものが生れてこず、長い間まことに相すまぬことは思ひながらも、うやむやに過して來ました。

たま／＼秋山先生が數年前から低學年に直觀科を特設され一二年生に指導してゐられるのをみて、幼稚園の觀察もあの様にしたなら或はうまく行くのではないかと考へ、おぼろげながらも幼稚園の觀察の行くべき道はこうしたら開けるのではなからうか、を感じ御指導うけつゝ少しづつやつてみました。

しかし一組五六十名では騒々しくて、その目的は達せられませんでした、何にかいゝ方法はないかと考へた末一組を半分に分けて扱ひましたところ、騒がしさがなくなりこの分ならば云ふところまでこぎつきました。

しかしその取扱は或はこゝ新しく觀察だ等とこり立て、云ふほどのものでなく、たゞの風車まわし、落葉ひろひに過ぎないのではないかと、疑問をお持ちの方もあることと思ひます。一二年の取扱も四十分の授業のみをこらんなつたのでは同じ様な感がして理數科理科或は觀察とは

この様なものか意氣込んで来て下さつた方は、失望されたのではないかとおそれる程指導者は、指導的立場をすて、幼児と共に遊ぶこの點、幼稚園としてはほんまにうれしい幼稚園らしさのあるところであると思ひます。

幼児は何の苦痛もなく、大變によろこんで豫定の時間はいつも、超過し午前中一杯をこの遊びで過すことが度々であります。

この節やかましく問題にされて居る様がこの重要な様が、こうした觀察取扱の中の大きな役割を持ち、又手技も云つてもいゝ程の仕事を含み、自分の工夫發見を保姆に話す云ふ話し方の練習にもなり云ふ風に、非常に他の保育項目との關聯が多くあります。

又常に物事に注意する云ふ環境におくことは幼児は勿論意識しないが、それだけでも將來の創造的發見的な性情を養ふに役立ち又共同的精神も團體訓練も自然の中に養はれるのではないかと考へられます。

又身體的な方面から云つても、常に自然物を玩具として遊ぶことになるので、手技の爲に多分の材料費を使ふこともなく、腐物の經木包紙廣告紙等で、風車、紙鐵砲、紙飛行機が出来る云ふ風に、工夫發見の素地をつくりつゝ、大氣のもさでは光の直射を受けつゝ自由に飛びまはつて遊ぶことは健康の上からもいゝことではないかと考へます。

來年度に於ては國民學校一年生から理數科理科を設けられて實施される點、すつと以前より同じ様な内容をもつ、觀察云ふ保育項目をもつ幼稚園として、大いによろこび又大いに考へなければならぬ點ではないかと思ひます。

新しく國民學校令が發令されて實施された曉は、幼稚園令も又新しく發令されることと思ひますが、幼稚園と國民學校の連絡の上からみても他のいろくの點から云つても當然従の統一を計らなければならぬ時代であると思ひます。

こうした見地から考へてこうした方法を日々の保育に盛り入れていたぐことが出来れば、今まではおそらく誰もがうやむやに過して來たと思はれる觀察の行くべき道がひらけ、非常によろこばしいことではないかと考へまして、未完成なものを、お目にかけて研究問題を提供したにすぎません……

二、題目選定の方針

- 1、幼児の環境に於ける自然物、自然現象を主としたこと
 - 2、遊びに發展し得る材料であること
 - 3、幼児の發育に従つて系統的に修練し得ること
- 三、保育上の注意
- 1、教へる云ふ考へをすて、自發活動を重んずること

- 2、保姆も幼児と共に物より學ぶ態度であること
- 3、遊びの方法を形式的劃一的にならぬ様にすること

四、實際取扱の一例

- 一、題目 たねまき(秋の草花)
- 二、目的 播種より結實に至る神祕な生物の世界を直接に觀察させる中に成物愛護の念を培ひ、自然に親しむ態度を繼續的に一つつものを研究する態度を養ふに資す。

三、準備

- 1、素焼の五寸鉢(幼児一名一個)
- 2、空豆の種子一つつ鉢に三つ
- 3、シヤベル
- 4、名札：折箱又は竹にて作り植物名播種月日をか
- 5、腐葉土、油粕、畑土
- 6、漏斗、又は糊の空瓶空罐等

四、保育過程

1、鉢種子別け

○かねて家庭より持参した鉢に幼児名をエナメルで書いておいたものこ、そら豆の種子三つづを渡す、大を順次にならべたり隣の子をくらべたり、つまんで見たりする。

○今日はこの種を播きます何でせうネいくつですか、

三つそら豆でせう云ふだろう。

○さうして植ゑたらいゝでせうネ、こやつてさ上向、横むきにして見せること、思ふ。

○さこから芽が出るかき問答して居た幼児あり、皆でいろく考へる黒いところの真中さ云ふこと一致した(このことは土中では見えないので水をつけてさこから發芽するか観ることにした)これから鉢に土を入れて植ゑませうさ庭に出る。

2、土を入れて種を蒔く

おし合はない様に圓陣にしゃがませ

○植木鉢の底の穴はそのまゝでいゝか土がこぼれるから、石、貝がら、鉢のこわれ、花形のふさぎを入れるを發表する、各自にその邊りからさがして入れさせる。

○腐葉土と畑土を交互に鉢に入れ、八分目に盛らせる。

○指先にて三ヶ所に穴をあけて種を蒔き土をかける。

○空瓶にて水を五杯かけ名札を立てさせる。

3、整理

○道具の仕末、手足の清洗は特に念入りにする。

○毎日を與へる約束をする。

○誰が發芽を早く観出すか連續觀察を訓練つける。

五、指導上の注意

○水を與へることは常に注意しないこと忘れ勝である。
○室外での取扱は注意が散りやすい、この點特に訓練の必要がある。

○中途で枯死しない様にしても休日等の爲に思はぬ失敗をする。生のつよいものを選ぶことが必要だ。
○鉢は一人一個としないこと、獨占欲がつよいので徹底しない。

唱歌遊戯について

東京・富士見幼稚園 山村 きよ

教育の上にも新體制が布かれる時、新たな立場で再検討される各保育項目を眺めて、まづ私共が一番早く手をつけねばならぬと思ふ(自分自身の修養の爲にも)唱歌遊戯について愚見をのべておきます。

●唱歌の歌ひ方について

いままでいろいろの方法が行はれてゐて最早御研究済みの方も澤山あられるかと思ひますが、こに角幼児の生活に即した自然の歌ひ方に心して行かねばならないと思ひます、女學校の音樂練習の様な方法で發聲練習や、音感教育等されては子供こそ迷惑千萬な事と思ひます、ある時には

作業をしながら誰れが歌ふともなく歌ひ出した唱歌に保姆の聲が正確なメロデーとつきりしたりリズムを以て協和して行く事が出来るならば實にのんびりとした唱歌練習が出来たものでは御座いませんでせうか？しかし勿論樂器を離れた指導のみでは危険と思ひますが、時には樂器なしの唱歌指導に、ある程度の正確さを備へて行き度いものと思ひます、保姆の技術の問題如何でその保育効果を得られることはこれに限らずいろいろの方面にも表はれますが、こに唱歌遊戯に於てはその結果が大いに保姆の技術に左右されることは挑むことの出来ない事實でございます、愉快に、歌詞をはつきり、自然の發聲を以て歌はせることは常に心得ておくべきことで、その爲にはラヂオの歌のおけいこ等は材料によつては大變好結果の表はれることが御座いますし、又保姆の爲にもよい指導材料とすることが御座います。

●唱歌の選擇について

いつも唱歌研究の外に問題となる事は一定の正しい標準の定められて居らない事、現在あまりに多種多様な内容を持つた童謡が氾濫してゐることで御座います。ラヂオ、蓄音機等いろいろ童謡が耳に入り、こに大人の爲の國民歌謡等非常に興味深く引きつけられてゐる様な時、保育室の唱歌にまで國民歌謡を引き込まなくとも材料はいく

らもあると思ひます、勿論大衆向に造られた歌を、老ひも若きも皆聲揃へて唄ふさいふ氣分は實に喜ばしいこと、

今まで比較的音樂的零圍氣に恵まれなかつた日本の家庭生活には、ラヂオ蓄音機のおかげが大變嬉しい事は存じますが、その反面にあまりにジャズ氣分たつぷりな音樂的零圍氣を喜ぶ様な現在に至つたのでは御座いませんでせうか(戰時の影響もつけてのこと、は存じますが)、ある場所によつては街を流れるメロディー全部がジャズといつてもよい様な感じのする時も御座います、こんな時にあたつて、私共保育者としての心やりはせめて幼稚園に來て居る間だけでも「ジャズ」音樂から遠ざけてやり度いものと思ひます、そして更に進んでは反對に子供を通して幼稚園唱歌を各々のお母様方に隣組のおばさん達をまで引きつけて行き度いものと思ふので御座います。

保育の上を選ぶべき唱歌は出来るだけ明るい曲を主に、子供らしい純心さの表はれた歌詞を選ぶべきだと思ひます、今までに作られた唱歌の細目も澤山あるやうでは御座いますが各々その編者の主観で割に片よつてゐるものが多い様に思はれるので御座います、あまりに堅苦しい感じのものばかりあつたり、又幼兒の唱謠にはふさわしくない様な短調のものや、リズムの取りにくひものなごあつて、まだまだ理想的なものではない様感じられます、目下の急務

としては是非共、音樂教育の立場から見て、理想的標準をお示しいたゞき度いもので御座います。

●音感教育について

國民學校藝能科音樂の新しい目標は「音に對する教育」だと思ひます、ここに低學年の音樂教育に於てこの點を重視されて居りますところから察します、幼い時の音感教育が是非共必要であるといふ事が認められたわけ、この點幼稚園にしても大いに考へねばならないことだと思ひます、日常生活のうちにも音に關する部面が澤山御座いますので、高尚な音樂鑑賞に導く前に先づ順序として、「音を聞く態度」「耳の訓練」をしておかねばならないと思ひます、それには出来るだけ多くの音に接させ、音による遊びを數多くすることだと思ひます、鑑賞曲にしても最初ごく平易なわかり易い、はつきりしたリズムを持つた曲を度々聞かせることによつて(同じ曲を音樂に興味を持たせ、だん／＼に高尚なものに進んで行くべきでは御座いませんでせうか、いたづらに曲の解説にさらわれたり、リズムを取る爲の動作にまけて「音を聞く」事を忘れてはならないと思ひます、又相手が幼兒であるといふ事はすべてに於て心しておらねばならぬことだと思ひます。

最近弘田龍太郎先生に「幼兒の音樂鑑賞」について御指導いたゞきました折、多くのお話の中に最も私共に痛切に響

きましたことは「軽いお話を造つてそれに音楽をあしらふこと」「遊戯の折に弾く伴奏を最も注意して選び弾くこと」ここにマーチ、律動遊戯等の伴奏を注意して弾いたなら幼児の音楽鑑賞初步の取扱ひとしては一番効果的であること御教示いたゞき、今更ながら技術の必要を痛切に感じさせられました。

音楽鑑賞も、リズム遊びも、唱詠も保母の技術に相俟てその効果が表はれるものとしたならば、私共の責任はほんまに重大なものに汗顔の至りで御座います、舊體制に於ける文化がある特別な裝飾の様に思はれて居た時代は過ぎました、と同時に音楽的文化生活がある特種階級の人々のものゝみでなくなりつゝある現在の様にも思はれます。たゞ整理されてゐない音楽的環境に指導者もなく引きづられて行くやうな場合が多いのでは御座いませんでせうか、こんな時大事な第二國民の保育にあたる私共の心がまへは幼児の音楽的環境整理だご存じます。新體制下、あらゆる部面に涉つて國民の文化生活を引きあげて行かうとされる大政翼賛會の「國民生活指導」の一部分を引きうけてゐるものご大いに自重し、覺悟して行き度いもので御座います。

●遊戯について

幼稚園の遊戯についてもその材料、取扱ひ等にいろ／＼と研究の餘地が御座いますが、紙面にも限りがございます

ので左の二つの問題について具體的に考へて見たいご存じます。

(一)團體訓練と基礎的運動

從來よりも一層この點に注意して行かねばならないご思ひます、國民學校體練科に於ても躰を重視して居られる如く、幼稚園でも幼児一人／＼の正しい躰の實踐が、やがては立派な團體訓練に至らねばならないご存じますその爲には從來の様な氣分的な取扱ひや心理的な方面のみを眺めては居られなくなりましたいろ／＼な團體訓練を通して身體的にも、精神的にも底力のある氣力を養つて行かねばならない現在では御座いますから特別病弱な幼児でない限り、團體遊戯さか競技の場合一人残らず運動に參加する様、導かねばならないご存じます。

行進等にしても一人／＼が正しい歩行練習を終へて後、全體的の正しい行進に發展する様導き度いもので御座います。(勿論ある程度、の正しさで、ここに鍛練の時代では御座いませぬ故、出来るだけゆるやかな自然の訓練方法を選ばねばなりません) 幼児の中には割に多くの「身體のくせ」を持つてゐて、なか／＼正しい姿勢の歩行や、スキップ等が出来るに／＼場合が多い様に思はれます、從來は兎角氣分的取扱ひに流れがちでこんな基礎的運動には保母自身も興味を持つ人が少なかつたかご感じられますが、幼児は割合に

興味を持つて引き込まれる場合が多く、ラヂオ體操等喜んでする所を考へても從來の唱歌遊戯を變つた興味を持つて引きつけられるやうな幼児の爲にのみ造られた基礎的運動の標準がほしいもので御座います(大阪市では最早、統一されたものを實施して居られるそうで御座いますが)私の園でもある名曲に(レコード)簡単な動作をつけて「リズム」體操を名づけ實施して居りますが、大變喜んでいたします、完全なもので御座いませぬ故、體位向上にされただけ役立つかは存じませんがその爲に國全體の氣分が統一され、又團體訓練としても他の遊戯等には表はれない効果をおさめて居ることは事實で御座います。

(ロ)自由遊びとの連絡

自由遊びに於ける戦争ごっこ、鬼ごっこ、なわとび、まりつき等を整理し、指導して遊戯として使用したいもので御座います從來の唱歌遊戯を律動遊戯を一緒にした様なものが出来て幼児等には大變興味深く、喜ばれます。ここになわとび等、年長組ともなれば相當に効果がおさめられます。それに幼児同志の樂隊をつけたり、又ピアノの伴奏にタンバリン、手拍子等だけでも非常に喜び、見てゐる者も、飛んでゐる者も實に愉快さうで時のたつのを忘れてしまひます、たゞ注意せねばならない事は「度」を過ぎぬことで、この點充分心得て居らねばならない事で御座います。

從來の遊戯がこもするを見せる爲の遊戯になりがちだつた事は否むことが出来ません、ここにレコードの童謡等之間奏の間無意味な動作を長くつゞけたり、度々繰りかへしたりするところはほんきに考へねばならないことゝ存じます。勿論、年に一度や二度の唱歌遊戯會故にさうしてもつきものになつてゐる「見せる爲の遊戯」もこの新體制を模して大いに考へ直さねばならないと思ひます、と同時に母親達にもこの考へを及ぼして、幼稚園の遊戯について正しい理解を持つていたゞける様指導するのも私達の勤めの一つ存じます。

手技について

麴町區番町幼稚園

徳久智江子

先づ、幼児が將來 皇國民としての基礎的練成を受けるべき、其の素地を作るのが幼稚園の仕事であるといふ事に頭に置いて、幼児の生活の中に於て、各保育項目を総合的に行はれるべきものである。故にこれの一つだけ切り離して「手技」を考へるに妙なものにはなるが、今までの保育の實際を反省し今後の心構へを考へて見る事とする。

其の材料について、

(一)、幼児の年齢、發達段階に適したものを

幼児の身體的、精神的方面から見て、あまりに程度の高いものは、徒らに疲勞を來すだけであると同時に、平易に過ぎるものも興味を失つて、努力する習慣を失つてしまふ。それを行ふ爲に、幼児が心的方面にも、實際上にも存分に活躍出来る物が望ましい。勿論、完成の喜びを味はせる爲に、先生が手傳つて悪いといふのでは無いが、少しでも幼児のする部分の多いものを希望する。

其の意味から言つても、まだ何處かに残つて居る、お土産といつて、先生が作つた物を持たして歸す様な風は意味ない事と思ふ。

(二)、幼児の工夫考案の餘地を残して創作の芽生えを養ふ事の出来るもの

幼児が幼児なりに工夫し努力して作りあげる様な材料を、其の指導法が必要と思ふ。従來はやゝもするに、此の紙をかう折つて、……に糊をつけて、こあまりに御膳立てが出来すぎて居なかつたであらうか……親切も過ぎるに迷惑に同様に、それではいつも與へられる事ばかり待つて、自分で考へるこいふ経験を失ひ、創作の芽を育てる時を逸してしまふと思ふ。

例へば電車を作るにしても、初めから立體的な線を與へ

て作らせずに、先づ自由に平面的に作り、さうすれば屋根が横がつくかを工夫させる。或は箱をこわして見せるのもよからうし、出来上つた物を見せてもよい。そして自分で考へたら、あまりよい考へでないにしても一應させて見る。子供は其處で又よい方法を考へるであらう。そして完成の時は先生も共に大いに喜んでやり、出来上りの巧拙でなしに其の努力を考へた事をほめてやりたいと思ふ。

(三)、大まかな、力一ぱいの仕事を

幼児の手先の細かい神経にうつたへるので無く、全體で行動する事は經費の點から言つても容易でないならば木工もよい。大きな畫、大きな粘土製作等々全部の人が

これをする事は經費の點から言つても容易でないならば今日は誰々が存分に粘土をつかへるこいふ日を作つてやればよいと思ふ。子供はみんなに其の日を楽しみにするであらう。

額に汗をして事をする経験をせよさせたい

(四)、大自然を親しみこれを取入れる事

自然の變化を知らせて、或は雨の自風の日の様子を表現させるに、栽培するチューリップの發育状態を書かせて見るに、か大いに觀察を聯關してこれを取入れて行く。木の葉、木の實、貝、野菜其の他其の場所々々の自然物をもつて利用して形、色、調和の美しさを知らせるに同

時に、自然の不思議、偉大さに敬服する感じを持たせたいと思ふ。

(五)、儀式 年中行事をむすびつける

従来から年中行事は相當に行はれて居るが此の際更に日本古來の美しい風習を研究してこれを取入れて行く。

(六)、其の土地場所にふさはしい物を選ぶ

都會の子は都會の子、農村は農村らしく、其の環境が異なるのであるから先づ幼児の日常生活の中にあるものを用ひる事

かくすれば必然的に日本の子供らしいものが出来て来る。

(七)、幼児がそれを生活に活用する事の出来るものであり、發展性のあるもの

特別の場合を除いては、作つたものを飾つておくので無く、直ぐ生活の中に入れて行く事の出来るもの、こわれてしまふからさいふならば、こわれれば又其の時に今度はこはれない様に作らうさいふ事を経験する事が出来るし、こはれた物を利用する事も子供自身考へて行くと思ふ。

先生の方こそしても初めからこはれない物を工夫する様にならう。

又段々次から次へ發展して行く事の出来るもの、例へば電車を作る、車庫が必要だ、驛がある。鐵橋も、今度はケーブルカーも其處に大きな遊びが展開出て來行く

様なもの。

(八)、科學的興味を持たせるもの

これからはこの方面にも幼児の目を向けさせる様な材料を與へる事が必要である。

其の取扱について

(一)、指導は個性的であつて、個人的でない様に一人々々の子供の個性、能力を知りぬいてそれを少しでも伸長する様に指導する事は忘れてはならないが、之れが假にも個人的競争になる様な事が無い様、結果としては全體的である様に注意する事が必要である。

(二)、技巧に流れず、製作過程を重んずる事

出來上りの巧拙は問題にせず、下手は下手なりに、眞剣に全精神を打ちこんで最後までやりまげさせる様にする事唯、さうかさいつて下手でよいまほつておくのでは無く細かい指導は絶えず行つて少しでも幼児が自分なりに満足出来る様にしてやる事は必要だと思ふ、缺の使ひ方、糊のつけ方等にしても。

(三)、物資の用ひ方を指導する事

従来より一層物資の大切である事を感じて無駄にしなさい、大切にする習慣をつけたい。一枚の紙の切り方にしても、大きな紙の中央にいきなり缺を入れずに端から使ふとかクレオンの少さくなつたのはさうすれば又使へるか、其の後始末等についても注意する事が必要であらう。又机其他の器具でも注意すれば傷ける事が少ない

いふ様な事も経験させたい。

廢物利用 代用品の研究もごん／＼行つて少い物資で効果的な保育を行ふ様にすることは、又そこに幼児に工夫する力を養ひ、家庭まで指導する事が出来て、一石三鳥と言へ様。

(四)、姿勢、場所に注意する事

正しい姿勢で事をする様に。其の場所も、暗い所、直射光線の所で物を書かない等細かい注意が必要。

(五)、環境の整理

美しい畫、美しい配合、美しい形をもつて幼児の環境を作つてやり、美に對する目をやしなつて行く事につため、先生自身本當の美を知る修養が必要であらう。

最後に幼稚園で行ふ手技さいふものは、いはゆる單なる手わざではなく、前にものべた様に幼児の身體からぶつかつて行くものであつて、其の點を考へるに、手技さいふ言葉が適切でないさいふ事を感じる。小學校の手工も、今度國民學校に於ては藝能科工作さいふ言葉をもつて表はされ、内容的にも、もつ／＼／＼廣い深いものをねらつてゐる、物真似をして名を變へたいと言ふのではないが、言葉から受ける感じが、相當に物を支配する事を思ふに、此の際何か改められないものかと思ふ。「製作」さいふはふか、此れも何だか適切でない。

大方諸賢の御一考をわすらはす事を願つて稿を終る。

最新 幼稚園唱歌集

定料 六圓
送料 一元
發行所 日本幼稚園協會

一、	コックフレ	倉橋	惣三	作詞	十二、	たんぼぼ	大森	敏子	作曲
二、	幼稚園のお庭	倉橋	惣三	作詞	十三、	すずめ	高城	富貴	作曲
三、	だるまさん	井上	武士	作詞	十四、	チューリップ	久保	政子	作曲
四、	お洗濯	相田	多権	作詞	十五、	春が来た	池田	孝二	作曲
五、	汽車	中山	千草	作詞	十六、	貝拾ひ	宅富	孝二	作曲
六、	雲よ降れ降れ	辻	晋	作詞	十七、	うさぎ	高城	富貴	作曲
七、	煙	津村	孝二	作詞	十八、	七五三	高城	富貴	作曲
八、	てんとう蟲	坊田	あき	作詞	十九、	鬼ごっこ	高城	富貴	作曲
九、	春	小林	つや	作詞	二十、	お母さま	西村	美奈子	作曲
十、	お窓の雨	吉田	武士	作詞	廿一、	おんぼろ	高城	富貴	作曲
十一、	小鳥のおはなし	伊藤	逸子	作詞	廿二、	春の野	高城	富貴	作曲
最新	幼稚園唱歌集の第二版が出来ました。本會死して	杉山	弘田	龍太郎	廿三、	おんぼろ	宅富	孝二	作曲
作曲	御註文下さい。	高城	富貴	子作曲	廿四、	春の野	宅富	孝二	作曲

日本幼稚園協會

開園式を擧げ得なかつた

東洋幼稚園の開園式の思出

岸 邊 福 雄

×
十月三十日教育勸語發五十年の祝典に際し、私共乏しき夫妻が、長い年月、能くも辛抱して頑張り通した、ミテ、有り難き、表彰の恩寵を頂戴したのであります。

×
それにつけ、思ひ出されます事は、私の東洋幼稚園は、明治三十六年十月三十日であります。丁度本年が、三十七年目になります。

×
ここに思ひ出を述べますのは、其三十七年前の萬感であります。偲び到つて、一滴の涙を拭ひますのであります。

×
マア、お笑ひながら、二三枚お読み續け下さいますようお願いひ申します。

×
設立の出願をして間もなく、東京府から出頭せよとのお召し狀が來た。そりや認可だミ、心せはしく、願書まで剃つて恭しく學務課に出頭しますミ、

×
君、東洋幼稚園ミは、随分、名前が大き過ぎるではないか、今少し、考へ直してはきうですか。

×

それが、府廳からのお呼び出しの御用向でありましたから、ハタミ失望した。併し、『フレールや、ベスタロヂは、西洋の兒童教育家でありますから、私は東洋のフレールやベスタロヂを任ずるものです』と、臆面もなく、府廳の役員衆の前で、平氣に放言したのであります。

×
するに、役人衆の中には、筆を止めて、私を見つめるもあり、煙草を吹かしながら、あちら向くもありましたが、少し強よさうな四十過ぎの役人は、『そりや、法螺吹き幼稚園だ』と、ひやかした。居並ぶ役人達は一同にドツツ笑つた。

×
けれども、東洋幼稚園の名稱は變更しなかつた。

×
役人達に笑はれた時は、顔から火が出るやうにも感じたが、『何』と口を嚙みしめて足元を見た。それが、田舎から東京に出て、僅に二三年した、二十歳時代の青二歳の時であります。

×
顧みて、其時の元氣を、自ら懐しく思ひますと共に、今日は、世間の荒浪にもまれた爲に、利巧になりましたでせうが、意氣地がなくなりました事は、恥しい。

二十歳時代から、兒供の教育に、一生を捧げるに到つたのは、神戸の師範學校の生徒の時。英國で研究されて歸朝された、高橋邦太郎氏が、頭蓋骨を髪の毛の上から撫でて見て、腦の發育工合を診察して、七點滿點の標準で、今日申す、職業指導に資せようとするのであります。

×
其高橋氏に二三の友達と一緒に、頭蓋骨の診察を受けますに、私の兩方の顚を押へて、君は、暗算は下手ですと言はれた。正にその通りです。

×
それから、又後頭部を撫でられて、これは珍らしいいきなり診察ノートに六點と書き入れた。さうして、君は、子供好きでせう。此の六點は、それです。子供の教員になる師範學校は、君の天命に従ふものです、懇切なる説明を附け加へられた。

×
其の高橋氏のヒントが、私をして、終に幼稚園の設立の希望に燃え立たすに到つたのであります。其高橋氏は、今いづこに在られますやら、お目にかゝりたうございますけれども。

×
設立の動機を、

……幼児教育を自分の天職と認識して、一生斯の道の爲に盡さうと思ひ立ち、終に茲に此の幼稚園を創立した次第であります。……

X

それから。又保育主義は、

幼児自然の活動力に基いて、強健なる身體の發育をはかるを主眼とし、又心情の教養中でも、常に快活で、物事をするに躊躇しない、凛々しい氣性も、思ひやりの深い優しい情操を涵養し、併せて雄々しい海國民の精神も、事に當つて合同一致する習慣を養成し、兼ねて覺官を修練して、智力啓發の素地を作るを目的とするのであります。……

X

自分ながら、よくもこゝまで、書き並べた事と感心しますが、全く一生懸命の結果でありませう。殊に、海國民なごの言葉を用ゐてゐるなご、苦心の作ですな。……こは、自己陶醉にて……失禮いたしました。

X

四十年前の微々たる一私立幼稚園の使事としては、幼児を乗せて、遊覽し廻はる新案の馬車を作つた事であります。

是は、たしかに、傑作でありました。

X

此の新調の幼児用乗合馬車で、毎日、公園に郊外に園兒を連れ出して、空氣は綺麗で、眺めの廣い自然界で、蝶を追ふたり、鳥を歌ひごっこをしたり、花を摘んでは、花びらだ、雄しべだ雌しべだ、花粉だなご説明したり、用意の色々の紙で、風車を作らせて、風を追ひつゝ駆けつこをさせたり。随分、思ふまゝの遊びをさせたのであります。

X

開園式を、三十六年十月三十日朝の十時から擧げるから、三四十名の方達に招待状を出した。恐らく、それが、東京に於ける知人の總てであつたでせう。

X

園舎と言ふのは、普通の住宅其儘を使用した。それでも、此日は、小さい新調の机に、白い布でも掛け。座布圍も、お隣り近所から借り寄せて、サア、よし、お客様のお入來を待つた。此日は秋ぞらで、小雨もそぼく降つてはるたが、十一時になつても十二時になつても、お客一人來て下さらない。

X

一時になつても、まだ見えぬ。家内も、手代はりに晝食をこつて、二時まで待つても、一人のお客も來て下さらな

い。
一朝の十時の案内に、午後二時まで、お客を待つ心持は寂しい。

×
三時になつても、誰一人、尋ねても来て下さらない。秋の雨の日は、暮れかゝつて来た。家内を顧みて、『けふは、ごなたも来て下さらない。もうあきらめよう』と言ひながら、机や、座布團を片附けます。家内も、取り片附けの手傳ひをしながら、『此日を思ひ出して祝ふ日もありませうよ』と慰めの心持で寂しさうに言ひました。さうして夫妻は、ツイ顔を見合せましたが、互に、心弱くも涙をホロホロとこぼしました。

×
斯く、東洋幼稚園を、威勢込んで創立したものの、開園式を挙げ得なかつた開園式であります。恐らく、廣い世の中、多い幼稚園で、斯様なみじめな幼稚園は、又々ありますまい。全く、力乏しき爲めでありました。

それより二週間ほゞしますと、入園児が三人あつた。其の次第を、當時矢來町にござつた、高嶋平三郎先生に語りますと、三十歳時代の先生は、かしこくも、『君方おふたりは、泣かれたでせうね』と、慰めの言葉を與へるに共

に、先生も目を拭つて下さつた。

×
さうして、『園児が、一人でも多い方が、にぎやかで好い。家の百合子(五つ)を入園させよう。それから、文雄(長子)小學校に往つてゐるけれど、つぎ遊びにやらう』と、慈悲をこめての激励の言葉を與へられた。思ひ出して、涙を新らたにいたします。嬉しかつたですよ。

ハイ(つゞく)

保育實習科生徒 募集について

今年度の東京女子高等師範學校保育實習科生徒募集の大略は次の由にきいて居ります。

募集人員 凡二十四名

出願期限 二月一日より同月廿八日まで

試験期日 三月四、五日頃

官報廣告 一月十五日頃

委細は東京女子高等師範學校教務課(東京小石川區大塚町三五)につきその詳細をお聞き下さい。

(編輯部)

一月の保育

及川ふみ

新年を迎へた幼児たちの喜びは大人の想像以上かもしれない。お正月が来るま一つお年がふへるご心からうれしうに待ちわびてゐた。この一つお年が殖えた喜びにつけても、この際幼児たちに小さいながらも自重の氣持を新らしくしたいものである。

よきをこり悪しきを捨てるこの好機新年にあたつて組として反省すべき點、これは専ら保母自身の反省にまつころが多いのであるが、幼児各兒についてもこの好機をのがさず指導する事を忘れてはならない。殊に幼児の躰の方面に一層好都合の機會である。

次にこの期は室内保育の多い時であるから幼児の衛生體育方面についての立案を充分に考へて實行して見たい。室

内の換氣、含嗽、手洗、室内や戸外の運動に特に注意していたづらに寒さにまごこめられない様にあつてほしい。

第一週 一月八日—十一日

水

始業式 幼兒職員保護者一堂に會して年賀の挨拶

木

唱歌遊戯 ユキ(エホン、シャウカ)

自由畫 お正月の門松、飾、お供餅など。暖房が始まり、お辨當ぬくめを開始、幼兒にお辨當箱の取扱ひについて注意する

自由遊び 羽子つき、双六、カルタ、凧あげ、石けり、

繩さびなぎにつき適當の指導をする

金

お話 氷 觀察ばなし

ヌリエ 福壽草

土

紙仕事 みかんの切り紙(古端書)

第二週 一月十三日—十八日

唱歌遊戯 ユキ

箱のお店

各幼兒に家庭より紙の空箱を持参させる。箱のお店は箱を持参したものより始める。幼兒たちの希望によつて店の種類を定める。店が定まるま第一着手として看板を畫かせる。畫用紙に商ふ商品ならびに文字の書けるものに

各幼兒に家庭より紙の空箱を持参させる。箱のお店は箱を持参したものより始める。幼兒たちの希望によつて店の種類を定める。店が定まるま第一着手として看板を畫かせる。畫用紙に商ふ商品ならびに文字の書けるものに

各幼兒に家庭より紙の空箱を持参させる。箱のお店は箱を持参したものより始める。幼兒たちの希望によつて店の種類を定める。店が定まるま第一着手として看板を畫かせる。畫用紙に商ふ商品ならびに文字の書けるものに

各幼兒に家庭より紙の空箱を持参させる。箱のお店は箱を持参したものより始める。幼兒たちの希望によつて店の種類を定める。店が定まるま第一着手として看板を畫かせる。畫用紙に商ふ商品ならびに文字の書けるものに

各幼兒に家庭より紙の空箱を持参させる。箱のお店は箱を持参したものより始める。幼兒たちの希望によつて店の種類を定める。店が定まるま第一着手として看板を畫かせる。畫用紙に商ふ商品ならびに文字の書けるものに

各幼兒に家庭より紙の空箱を持参させる。箱のお店は箱を持参したものより始める。幼兒たちの希望によつて店の種類を定める。店が定まるま第一着手として看板を畫かせる。畫用紙に商ふ商品ならびに文字の書けるものに

は文字もかゝせる。

箱のお店は一時に数人づゝの指導で、外の幼児は自由遊
びか、或は比較的幼児自身だけで出来るものをさせてお
くのであるが保姆の眼界の外におかない様に特に注意す
べきである。

火

お話 兎の片耳

自由畫 兎の話の繪

水

紙仕事 箱の家つゞき

木

唱歌遊戯 ヌキ

ヌリエ 模様

金

お話

自由畫 凧の繪(毛筆)

土

人形芝居 猿蟹合戦

第三週 二十日—二十五日

月

お話 日曜日の話會ひ

唱歌遊戯 だるまさん

火

紙仕事 箱の家つゞき

水

自由畫 凧の繪(毛筆)

木

紙仕事 水仙の切紙(用紙は古端書)

金

唱歌遊戯 だるまさん

自由畫 凧の繪(毛筆)

土

紙仕事 箱の家つゞき

第四週 二十七日—三十一日

月

唱歌遊戯

自由畫 凧の繪(毛筆)

火

お話

紙仕事 箱の家つゞき

水

ヌリエ

木

唱歌遊戯

紙仕事 箱の家つゞき

金

お話

自由畫 水仙

各地保育
活動

岩手縣保育會概況

岩手縣女子師範學校附屬幼稚園

高橋タツ

一、本會の成立

私共の保育會は前會長藤見陸治氏の熱心なる提唱によつて昭和十三年五月十四日第一回總會の開催日を以つて創設せられたのである。本縣の幼児教育は明治三十七年盛岡幼稚園の開設を以つて始るのでありますが其の發展は其後遅々たるものでありまして殊に農山漁村に於ける乳幼児保育に關する關心は殆ど皆無さも云ふべき状態であつた。然るに昭和八年の海嘯同九年の凶作を契機として時の知事石黒英彰閣下御夫妻の非常なる努力によつて乳幼児教育の關心を高め託兒所の數も頓に増し又これが保姆養成機關として岩手縣女子師範學校内に保姆養成の講習科が設置されたのである。これ等を大同團結して幼児教育の發展を計るべき事は必然の勢であつた。時偶昭和十二年十二月四日岩手縣女子師範學校附屬幼稚園に於いて保育研究會開催され、其の際參會せる縣下各地の保育關係者の間に岩手縣保育會の設立希望の提唱あり、其の結果越して十一日盛岡市内保育關係代表者が岩手縣女子

師範學校に會同協議の上縣學務當局にも緊密な連絡をこつて本會の設立を見たのである。此の間當時女子師範學校長たりし藤見陸治氏同附屬幼稚園主事上羽長衛氏當時の岩手縣社會課長榊原孝氏同社會事業協會主事菊池節太郎氏市内幼稚園長保育所長の各位は本會の創設に當つて少なからざる苦心をされたのである。

二、本會の使命

本會の目的は會則第二條に明示されてゐる如く本縣保育の進展に努むるにあるがこれを更に具體的に述べるならば、

第一、乳幼児中心の通年託兒所乃至幼稚園の量的擴充である。

本縣に於ける幼児教育は明治三十七年盛岡幼稚園、託兒所は明治四十二年小岩井農場に開設せられたるを以つて始るが、現在に於いては幼稚園二十二、通年保育所十七、季節保育所は昭和八年以後急激なる増加を見、現在春秋繁期に開設されるもの延べて四百餘ヶ所の多數にのぼる

が多くは勞働能率増進生産擴充が第一目的で幼児の保育其のものは第二の目的として取扱ひ乳幼児は足手纏ひ厄介者として取扱はれる傾向がある。これは幼児の保育そのものから見るに満足出來ぬことでは非乳幼児を中心とする通年保育所乃至幼稚園の遍く農山漁村に發展増設さるゝやうに努力せなければならぬ。

第二、幼児教育の質的發展である。

本縣特に農山漁村の乳幼児保育は誠に遺憾なもの多く現在に於いても其の死亡率二〇%以上の多きに達し一般に子供の世界に子供の價値を發見して居らず又保育の知識技能に於いて缺くるもの多く幼稚園は勿論保育所も贅澤なるものと思つてゐる状態である。其の爲に幼児の保育を誤り勞働能率はあがらず其の母性の修養は勿論健康さへ犠牲に供するものが多い状態である。

随つて夫々の幼稚園保育所に於いて保育の討究研鑽に努力精勵するは勿論一方に於いては關係各種團體を提携協力して一般民衆に保育に對する認識を深め幼稚園託兒所の必要を價値を感じしめ保育に對する質的向上を計らねばならない。

第三、家庭に於ける物資生活の擴充である

支那事變勃發以來多數の將兵が出勤せるにより銃後勞働力不足となり一方又盛に物の生産を要求せらるゝ今日幼

稚園保育所の増設充實して人的資源の根源に培ひ物的資源の確保擴充を計り高度國防國家を建設する事は現下の緊喫の急務である。然して家庭より乳幼児の繁累を除き母性を保護し又應召家族の乳幼児を預る等の事により家庭に於ける物資の生産を助け本縣の振興と國家の興隆の實現に寄與せなければならぬ。以上を要約して本會は一、幼稚園託兒所の擴充、二、家庭保育の改善、母性の擁護、三、家庭に於ける物資生産の擴充を計り以つて本縣振興と國策遂行に協力することを使命とするものである。

三、本會の組織

別紙會則第三、四、十條等に於いて明らかであるから省略する。

四、本會の事業及活動狀況

本會の事業及活動の資源たる經費は別紙會則六、七、八條に示された通りであるが創立日尙淺く且つ經費少なき爲微々たるものであるが然し幸にも會員自身の自奮と各方面の援助を得てさゝやか乍らも順調な發達を遂げ確なる足ごりを以て活動を續けてゐる。即ち創立してより滿二ケ年餘しかならないが會員數は三十六ヶ所より現在九十ヶ所に増加し經費も會員の増加と共に多くなり又縣社會事業協會よりの補助も次第に増加されてある状態である。

此の間總會を開く事三回研究会四回會報は既に第五號を發行又今冬の休暇には各方面の後援を得て本會が主催で保育講習會を開催する様去る幹事會にて決定せる所である。其他本縣保育に關する研究調査全國保育大會への會員の派遣ズックの配給の斡旋等手いづばいの活動をしてゐる。

總會には知事閣下をはじめ多數の來賓の御臨席を得特に長官よりは毎回告辭をいたゞき特別の獎勵後援を得てゐることは本會の無上の光榮とする所である。

研究会は各幼稚園保育所持廻りで開き保育の實際を公開しそれを中心として批評會を開き主として保育の取扱の實際に就いて研究するのである。又其の節會員の研究發表名士の講演等をお願ひしたこともあるこれまでの研究發表者及題目をあげるに次の通りである。

恩寵の半生 盛岡幼稚園長 佐藤 徳子
 託兒所を設くる迄 仙北保育所保母 田中 みね
 幼稚園のおやつについて 泉幼稚園保母 梅澤 コマ子
 紙芝居について 仙北保育園 菊池 正雄
 私の保育の實際 仁王幼稚園 橋本 てる子
 子供らしい子供に育てたい

中野農繁託兒所 北館 ハチ
 保育上考慮すべき問題の一端

女子師範學校附屬幼稚園保母 高橋 タツ
 託兒所經營の重要性と其の實際

古館農繁託兒所長 菊池慶太郎
 曙保育所長 稻田 泰堂
 託兒所らしい託兒所
 生活訓練に就いて

女子師範學校附屬幼稚園保母 高田 尙子

日誌を拾ひて 塚澤託兒所保母 淺沼 英子
 尙演題と氏名は左の通りである。

幼兒の健康について 泉幼稚園長 ミセス・シユレーヤ
 デフテリアと麻疹の豫防について

盛岡保健所長 岡田 健之助
 幼稚園の衛生 泉幼稚園長 ミセス・シユレーヤ

仙臺市に於ける全國幼兒保育大會報告 睦幼稚園長 四戸 熊藏
 紀元二千六百年記念全國幼兒保育大會報告 嫩々崎幼稚園長 牧野 文榮

幼兒教育と國民學校 岩手縣女子師範學校附屬幼稚園主事 森 純 吾
 佛敎と幼兒教育 睦幼稚園長 四戸 熊藏

五、將來の抱負
 本會成立の趣旨から考へて前述の本會の使命の達成に邁進するに共に更にその活動を全國的に擴充して各地の同

進するに共に更にその活動を全國的に擴充して各地の同

志ミ手をさり合つて我が國乳幼児教育の大道を確立した
い。

岩手縣保育會會則

第一條 本會ハ岩手縣保育會ト稱ス

第二條 本會ハ本縣保育ノ進展ニ努メ併テ會員ノ研修親

睦ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ縣内幼稚園託兒所ノ職員ヲ以テ組織ス

第四條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

名譽會長 一名 岩手縣學務部長

參 與 若干名 岩手縣社會課長、岩手縣衛生課長

岩手縣教育課長、岩手縣視學官

盛岡市長、日本赤十字社岩手支部

主事、愛國婦人會岩手支部長其他

會長之ヲ推舉ス

會 長 一名 岩手縣女子師範學校長

副會長 二名 岩手縣女子師範學校附屬幼稚園主

事他ノ一名ハ會長之ヲ推舉ス

幹 事 若干名 岩手縣女子師範學校附屬幼稚園保

姆盛岡市内ノ幼稚園託兒所ヨリ各

一名宛會長之ヲ委囑ス

郡市委員 十五名 會長之ヲ委囑ス

第五條 本會ノ事業ヲ贊助スル者ハ贊助會員トシテ會長

之ヲ推舉ス
第六條 本會ノ目的ヲ達成スル爲メ左ノ事業ヲ行フ
保育ノ實際研究
講演會講習會ノ開催
會報ノ發行
保育功勞者ノ表彰
其ノ他

第七條 本會ノ經費ハ會費寄附金其ノ他ヲ以テ之ニ充ツ

第八條 會費ハ幼稚園ニアリテハ年額壹圓通年制託兒所

ニアリテハ年額壹圓季節制託兒所ニアリテハ年

額五拾錢トス

第九條 本會ハ毎年一回總會ヲ開キ決算ノ報告豫算ノ決

議等ヲナス

第十條 本會事務所ハ岩手縣女子師範學校附屬幼稚園内

ニ置ク

第十一條 本會會則ノ變更ハ總會ノ議決ニヨルモノトス

以上

以上

以上

以上

以上

以上

以上

以上

以上

以上

大政翼贊

大政翼贊會實踐要綱

一、臣道實踐 大政翼贊の大義に則り肇國の理想に基く新政治體制の完成を期し高度國防國家建設のため一億一心その任務遂行に努む

二、綜合的政治新體制の樹立 臣道實踐の大義に則り臣民の創造力を遺憾なく發揮せしむるが如き綜合的政治體制の確立に努む

三、翼贊經濟體制の確立 世界新秩序建設に主要なる一環としての皇國の大使命を貫遂するため廣く國民の知識、創意、能力を總動員し雄深なる高度國防經濟の建設を目標とする翼贊經濟體制の確立に努む

四、東亞共榮圈の確立 八紘一字の大精神に基き東亞諸國と共存共榮の協力體制の完備に努む

五、科學的新日本文化の昂揚 高度國防國家體制に即應するため科學的新日本文化の昂揚に努む

六、國民生活新體制の確立 皇國臣民の基本觀念たる翼贊

意識を國民生活の全部局に浸透せしめ新しき生活倫理の確立に努む

大政翼贊は日本の心である。それは國民生活のあらゆる部局に、どんなところにも浸み透らなければならぬ。この心は昔からの心ではあるが、現下の時局、國家の大時期、一般の徹底と普及とが急務になつてゐる。殊に、平安の時につい怠つてゐた公心がぐんぐん生活の第二面に出て來なければならぬのである。そして、一切の私心を滅して、一途に公に奉じ、大政翼贊に一貫しなければならぬ。

従つて、この奉公第一精神から、生活倫理の理論にも實際にも、個人主義、自己主義、私慾主義の不純が排除せられなければならぬ。たゞに、之等の舊い影を追ひ拂つたばかりでなく、新しい、正しい、よいものも、國民の眞の生活倫理が建設せられ、實現せられ、また陶冶訓練もせられなければならぬ。

この、眞國民生活倫理の陶冶と訓練こそ、教育がしつかりと擔ふべきところの受持ちである。——これからの幼稚園は、この眞國民生活倫理を培ひ育てる苗圃である。(倉橋)



昭和十六年
一月

おめでたう

お子さん方、いゝ年をお加へになりまして、おめでたうございます。一年にたつた一つづゝしか増さないのが物足りなくお思ひになることも知れませんが、その一つが、なんといふすばらしい一つでせう。なんといふ貴い一つでせう。特に行きさき長い希望を含む豊かな一つであることを思ふと、誠におめでたいことでございます。

— その一つづゝが、日本中の子どもさん、ほんとうに一人残らず公平に行きわたることも、なんとおめでたいことでせう。いくらいゝことでも、わが子ひとり

の事で、日本申いつしよでなくては、心底おめでたいとはいへません。さうぞ、日本中はかりでなく世界申一列でしたね。が日出づるこの國にこそ新年の朝も早く明けるとです。すなはち、先づ明けましておめでたうでございます。

それにしても、お子さんの歳は、去年の一つも、今年の一つも、お母さんの御丹精で過ぎ、御計畫で迎へられないものはありません。その意味で、子ども達の歳こそ母のものです。母の手柄に歸すべきものです。お母さん方、ほんとうにおめでたうございます。

お母さんおめでたう。
お母さんおめでたう。

幼稚園から

○お正月はいゝ習慣をつけるのに、機会です。お宅でもいろゝの御計畫がありませうが、幼稚園としては、登園の時間を一定させること、遅れないやうにといふこともその一つです。それには、起床時刻の一定。そのためには、前夜の就眠時刻の一定。その出来るためには夜更しをしないこと。みんな大事な習慣ですが、お正月と夜更かし。御注意々々。

○朝出る時に「行つて参ります」。歸つた時に「たゞ今」。——これは禮儀作法といふばかりでなく、気分をしやんとさせ、引き立たせるものです。こういふ、多少あらたまつたことも、お正月につけるにゝ習慣です。子どもさんのことです。そうゝきちやうめんなこともいりませうが、此の極く簡単なことは、癖になればなんでもないことです。まあ鞍の第一歩ともいひますか。御實行々々。

わが子を良い子に

一、一生懸命になれる子

倉橋惣三

一生懸命になれる子。これ程たのもし
い子はありませんね。その反対は、假り
にどんなにりこうでも、おとなしくても、
良い子とはいへませんね。そりやあ子ど
ものことです。おとなから見て、望
ましいことばかりして呉れはしません。
いたづらもする。わるさもするでせう。
それでも、一生懸命のところは、なんと
いつても貰いですね。庭の土いぢり、
夢中になつて遊んでゐる。着物もよこす
し、顔中どろんこにして、そこらあたり
きたなくする。が、その後ろ姿の、横顔
の、なんと真剣なこと、それは、
してゐることの善し悪しをいふ前に、先
づ、感心させられて仕舞ふ貴さです。わ

たし達、幼稚園の砂場で、いつもそうい
ふ貴い光景を見ます。そして、後から、
そつと拜みたいやうな氣がします。
そういふ時は、前へ廻つて、しげしげと
のぞき込んだり、にこ／＼と笑ひかけ
たりしない方がいゝやうです。そうす
ると、子どもは折角の無我夢中を、こわ
して仕舞ふことがあります。一心不亂、
自分も忘れ人も忘れてゐるところなん
です。からね。
そういふ子は、土いぢりや砂場でそ
うなるばかりではありません。いつても
本氣になれるのです。何物にも真剣にな
れるのです。眞面目な性質といつてい
のですが、そう／＼堅苦しくきまじめな

手製栄養お八つ

厚生科学研究所
國民栄養部 佐々木理喜子

お砂糖や小豆餡の過剰は、お子さん達
の保健上に面白くない結果を産みまし
たが、今こそ其の原因がなくなりまし
た。間食は大人には、無くてはならない
ですが、幼児期から十歳位迄は必要で、
子供はよく遊び、運動がはげしいので、
三度の食事だけでは栄養が不足しま
す。消化器が充分に發育せず一度に潔
食へられませんか。間食の注意を次
に述べます。

- (一)、腹持ちのよいものは、次の食事の
妨げになりますから避けます。
- (二)、消化吸収がよく、容積があつて、
直ぐに満腹するもの、
- (三)、水氣の少ない物は飲物を添へます、
- (四)、含水炭素を含むものを主眼とし、
無機質、ビタミンもある様に、
- (五)、果物、野菜、鮎、甘酒、團子、麵
類、餅、パン、ゼンマイがよろしい。
脂肪の多いものや肉、豆、卵、クリ
ーム、スルメはいけません。此等は
腹持ちがよくて、次の食事の妨げと

顔をしてゐる時だけではなく、にこ／＼と樂しげに、面白げに笑ひこける時にも、その眞剣さはあらはれます。

お正月の遊びでも、鞠つき、追羽子、加留多、すころく、なんでも一生懸命になれる子こそ貴いですね。どんなに上手でも、巧者でも、うはの空でしたり、ほかへ氣を散らしたり、一ぱいに氣を入れないのではいけませんね。全心全力でこそ、ほんとうに面白し、ほんとうに遊び甲斐もあるのです。遊びなんかといつてはいけません、一生懸命遊べない子は、學校へ行つても一生懸命勉強しますまいし、おとなになつても一生懸命仕事をしないでせう。

そこで、一生懸命になれるなれないは、多少性質にもあり、又、體質にもあります。傍からの仕向け方が大切ですね。第一、そばにゐるおとなが、不眞面目だと一番いけません。不眞面目といふと言ひ過ぎますが、心に落ちつきの少ない、氣の移り易い、そ／＼とさとした態度である、自然に、子ども、そ／＼なるやうで

す。第二に、あんまりふんだんに物を與へられて、一つのものに充分の興味をもつ間もないといつた風のごとは、至極よくありません。玩具をいろ／＼と與へ過ぎられたり、繪本を次から次へ與へ過ぎられたり、わざと氣を動かさせるようなものです。物もそうですが、傍から世話の焼き過ぎ、相手のし過ぎもいけません。人手の多い家の子が、氣のまとまらない子になつたりするのはそれです。自分で一生懸命心を注ぎこもうとしてゐるところを、傍から、あつちこつちから手を出されたのでは、食ひ散らし、警め散らしのやうなことになるつて仕舞ひます。農村の子にくらべて、都會の子が、氣が多過ぎて眞剣でない傾きのあるのも、都會に、子どもの氣を動かす物が多く人が多いからでせう。第三に、進んで、そういう習慣を養ふことが必要ですが、これには、初めは手傳つてもよろしいから、もの事を終りまで完結させる愉快を味はせることです。つまり中途はんばでは氣がすまぬ様な心の癖をつけることです。

なり、又消化にも長く時間がかゝりますから。

分量は五歳七歳は一五〇カロリ、三四歳は其の半量、果物でかさばる物は半分のカロリにします。

【一】おしるこ

材料 甘藷三〇瓦、メリケン粉二五瓦、砂糖六〇瓦、片栗粉少々以上で一五二カロリ

甘藷を蒸してよく潰し、此れを水に溶して小豆餡の代用にする。メリケン粉で團子を作り中に入れる。片栗粉を少量水溶して加へるとドロリとなる。

【二】お饅頭

材料 馬鈴薯四五瓦、人参一五瓦、砂糖五瓦、メリケン粉二五瓦、ヘーキングパウダー少々、以上で一五三カロリ

馬鈴薯と人参を蒸して潰し、砂糖を加へて餡を作る。メリケン粉にヘーキングパウダーを混ぜ水を加へてこね、皮を作り、中に餡を包んで二十分位蒸す。蒸器の下に濡布巾を敷くこと。

【三】お餅のクリームかけ

材料 お餅四五瓦(二切) メリケン粉一〇瓦、みかん汁少々、みかん皮少々、砂糖五瓦以上で一五六カロリ

お餅を三つ位に切り焼く。メリケン粉を溶いて糊の様に作り、みかん汁と皮を卸金ですつたものと混ぜ、砂糖を加へてクリーム様にし、上からかける。

た る か は ろ い 康 健 童 児

内 課 童 児 局 生 厚 市 京 東

選 會 協 護 保 童 児 市 京 東

- (イ) イツモニコニコゲンキナコドモ
- (ロ) ロンヨリシヨウコ、コノカラダ
- (ハ) ハヘノクウシユウバイキントウカ
- (ニ) ニツクワウアピテハイキンダホンキアベンキヤウ、ゲンキテウインドウ
- (ヘ) ヘイタイサンニモマケナイカラダ
- (ト) トヲヨリコワイトラホーム
- (チ) チヒサイトキカラハラミガケリンゴノヤウナアカイホホ
- (リ) ヌレタハダギハカゼノモトルキラオヨボスヒトリノピヤウキ
- (ヲ) フリヲリハオナカノサウヂムシクダシ
- (ワ) ワガママイフナタベモノニ
- (カ) カスナカリルナテヌグヒヤ
- (ヨ) ヨルノカンシヨクハラハメイワク
- (タ) タベルマヘニハテラアラヘ
- (レ) レイスイマサウデカセヒカズソトカラカヘツチガラガラウガヒ
- (ツ) ツメノナガイコ、キダナイユネマキオプトンヒニアテヨ
- (ナ) ナホスイシヤヨリカ、ラヌヨウジン
- (ラ) ラジオニアハセチ一、二、三
- (ム) ムシバツクラヌフダンノチュウイ
- (ウ) ウレシイニチエウビクニツク
- (キ) キモンブクロニゲンキナタヨリ
- (ノ) ノビヨワレラハミクニノタカラ
- (オ) オヤツハオウチデカヒグヒスルナ
- (ク) クチマメヨリアシマメ
- (セ) ヤマヒオヒダセトナリグミ
- (マ) マドカラムカヘルヨイクウキ
- (ケ) ケンカウ一ツテチユウカウニツ
- (フ) フメヨアサツシタシメツツニ
- (コ) コドモハカゼノコゲンキデア
- (ロ) ロベ
- (エ) エイヤアトカンゲイコ
- (テ) テマリテンナンヒナタハハズム
- (ア) アカルイヒカリテメラマモレ
- (サ) 三ドノゴハンハヨクカンテ
- (キ) キレイニカツタマルバウズ
- (ニ) ユキノダングラウンユキガツゼン
- (メ) メノゴミコスルナナミダテナガセ
- (ミ) ミエヲハルヨリムネヲハレ
- (シ) シロイカホヨリクロイカホ
- (エ) エガホデハヤオキカンシヤアハヤネ
- (ヒ) ヒエナイヨウジンイツモハラマキ
- (モ) モンクイハズニタノシイシヨクダシ
- (セ) セイクツ、セイトン、ミダシナミ
- (ス) スキキラヒスルコハヤセバウズ
- (京) 京モキナカモケンカウジ

このいろはかるたは、東京市児童保護協会の懸賞募集で、小學校の先生方その他多数の懸募作の中から、倉橋竹三、北原白秋諸氏及び市の児童課の人々を審査員として選定せられたものです。それが島田啓三畫伯の興趣豊かな筆によつて、一段と面白い繪かるたに作り上げられ、小物玩具組合から賣り出されました。どんな隅々までも健康日本児童になつて貰はうといふのです。

月刊「幼児の母」に就て

幼稚園の家庭教育指導のはたらきの一助にも、昨年一月、月刊「幼児の母」を始めてから、もう一年になります。毎號甚だ不出来ですが、それでも廣く各地幼稚園の御賛同を得て、月々、保護者へ配つて下さる方が多くなりました。あんな小さいものですが、従つて内容も簡潔手極のもので、毎月一萬數千のお母さんに讀んで貰へると思ふに、大によろこんでゐます。ほんの四頁さいふのも、忙しいお母さんの立讀みにもさいふ、初めからの計畫で、手にされる方は皆、讀んで下さることゝ、それが何よりなのです。

就ては、従來の方々は勿論おつゞけ願ひますし、新らしい方々にも願ひいたします。尙ほ、今までは毎月「幼児教育」で御覽の上の註文を本體に願つてゐましたが、もう大體お分り下さいましたことゝ思ひますし、月々の御申込みは、皆さんの方にも御手数数の多いことですから、半年分なり一年分なりまとめて御註文下さるやう願ひます。當方でも印刷部數の豫めきまつてゐることゝが、時節柄必要になりましたのです。それで新しい幼児の入園から新たに御配布の方も多いと思ひますから、四月を始めとして、四、五、六、七、三、四ヶ月を一期、九、十、十一、十二、三、四ヶ月を第二期、一、二、三、三ヶ月を第三期としてまとめ

たが御便利かと思ひます。一年拂は十一ヶ月分。

申込規程

一、御註文は十部を一單位として、實費を左の通り申受けます。

○十部 金貳拾錢(一部金貳錢)

○送料 十部まで三錢

二十部以上送料不要

○十部以下の端數はおこしはりします。

一、御註文の節は部數三何ヶ月分さいふことゝ御送り致す宛名を特にはつきりお書き記して下さい。

一、右御註文のお申込みと同時に必ず前金でお拂込み下さい。本會の振替口座(東京一七二六六番)をお用ひ下さるのが御便利です。

一、お申込みお拂ひ込みは、東京市小石川區大塚町東京女子高等師範學校附屬幼稚園内、日本幼稚園協會宛。

序に甚だ立入つたことゝのやうですが、御利用の仕組は(イ)幼稚園が保護者に無料で配布される場合、(ロ)實費を保護者銘々の負擔となさる場合、(ハ)幼稚園内の保護者會或は母の會等が費用を負擔となさる場合等、その他いろいろの仕組があらうと思ひます。

充分御利用下さい。

幼 兒 の 衛 生 (二)

— 文 部 省 講 習 會 講 述 速 記 —

萩 原 兼 文

これから「幼児の衛生」さいふ題でお話しようと思ひますが、私は小兒科の醫者ではありませんので、子供のこゝをいろいろお話する事は出来ないであります。唯私の専門の立場を致しまして、一般衛生のこゝをお話してみたいと思ひます。

先づ最初に衛生學さいふ説明を一寸してみたいと思ひます。衛生學さいふものは一體さういふものか、一口に申しますと健康の學問であります。さうしたらば健康になれるか、さうしたらば健康が害はれるか、畢り健康さいふこゝに對して研究する學問であります。もう少し具體的に申しますと、畢り普通の醫學さいふものは人間を主體としていろいろ研究して居りますが、衛生學は人間が無論主體でありますけれども、人間そのものよりも寧ろ環境ですネ、人間の周り、環境と人間との關係を研究しようといふのが衛生學であります。

ところが、この環境を申しましても非常に複雑なものであります。まあ假に考へてみますと、我々が常に忘れて居りますが、我々の周圍にあります空氣、これも環境であります。それからまた空氣がいろいろの現象を起しまして一種の氣候を作り出す。暑いさか、寒いさか、いろいろの氣候が出來ますが、これも矢張り環境であります。同じ空氣でも都會の空氣、農村の空氣、或は戸外の空氣、工場内の空氣、いろいろあります。これについて一つ一つ研究して、畢り空氣だけでもいろいろ雑多なものがあります。況して我々が踏んで居ります土地から出ますところの水の研究、また我々が着て居ります着物、これも環境であります。我々が住つて居ります住居、これも環境であります。住居を申しましても住宅もありませうし、學校もありませう。兎に角、いろいろ複雑して居ります。さういふ種々雑多な環境が一體さういふ状態にあるだらうかといふこゝを研究しまして、それが人體にさういふ影響を及ぼして來るかといふこゝを研究するのが衛生學で

あります。

それで一體醫學といふものは大體に於て、病氣を治療しますところの臨牀醫學、これが非常に發達して參りました。例へば内科とか外科とか小兒科、産婦人科、眼科、齒科、精神科といふやうな工合に非常に發達して居ります。それと同じやうにこの衛生學も發達しなければならぬ立場にあるのでありますけれども、今までの醫學の發達は寧ろ臨牀醫學の方に非常に發達した傾向があるのであります。そこでこの衛生學といふものを實際研究しますには、斯ういふ複雑したいろいろの場合々々によつて、研究して行くことは逆も一人や二人で出来るものではないので、これはさうしても衛生學は専門化しなければならぬ傾向を思ひます。先づ大別して、個人衛生、公衆衛生、民族衛生となりませんが、更に學校衛生、軍隊衛生、工場衛生、鑛山衛生、都市衛生、農村衛生に分けられます。そこで現在大學あたりで一般衛生として講義をして居りますのは、ホンの根本だけで實際社會に當つていろいろ研究して居ることを、一々學生に講義をして居る譯ではないのであります。またさういふことは今後の研究に依つべきであつて、中々今までの研究材料ではさういふことは話得ない立場にあります。これでは大體衛生學といふものはどんなものかといふことは、ザットお判りになつたと思ひます。

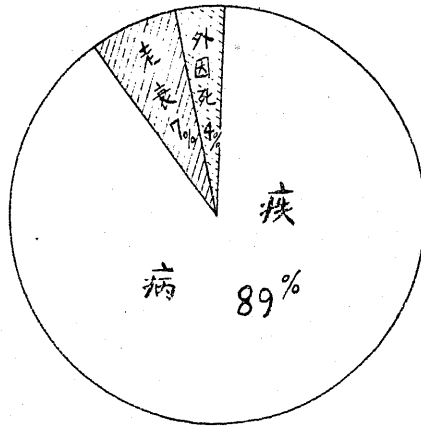
然しこの衛生學を研究するには醫學のいろいろの知識が必要なことは無論のこと、環境をしまして、畢り物理であるとか、化學であるとか、氣象學であるとか、建築であるとか、有ゆる科目を聯絡をこつて、一通りその常識を備へなければならぬ事になります。まアそれで今日は、私のこれからお話ししようと思ひますことは、先づ日本人として現在日本の衛生状態はさういふ立場にあるかといふことを、一通り皆様に御諒解願ひまして、そのあとで私の多少専門に致して居ります空氣衛生のことを少しお話ししてみたいと思ひます。先づ初めに現在日本の衛生状態はさういふ状態にあるか、といふことをザットお話ししてみたいと思ひます。

この表は——うしろの方は或はこの字がお判りにならんかも知れませんが、あとでそちらの方へお届けしますから、ゆつくり御覽願ひたいと思ひます——大體これは日本の昭和十一年の統計であります。日本内地の總人口は約七千萬人、その年に生れました人間の数が二百十萬、死亡者が百二十三萬といふのであります。これは外國に比べますと非常に人口の自然増加といふものは多い。寧ろ外國を比較しますと非常に餘計生れますが、餘計死ぬといふ傾向になつて居ります。一々外國の例を擧げてみると、のでありますけれども、時間が餘りありませんから外國のことはお話ししないで置きます。斯う

日本 (内地)
人口總數(昭和十一年)70258,200人

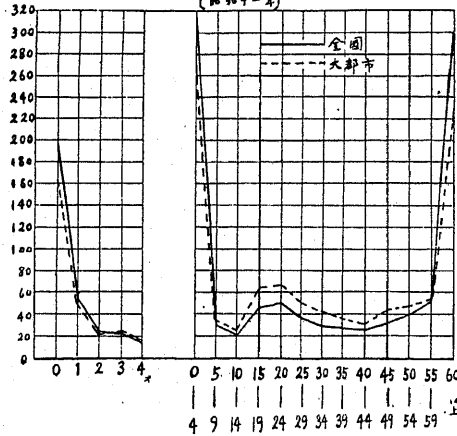
	實 數	人口千に付
出 生	2,101,969人	29.92人
死 亡	1,230,278人	17.51人
人口自然増加	871,691人	12.41人

死亡原因



年齢別死亡 (総数千中)

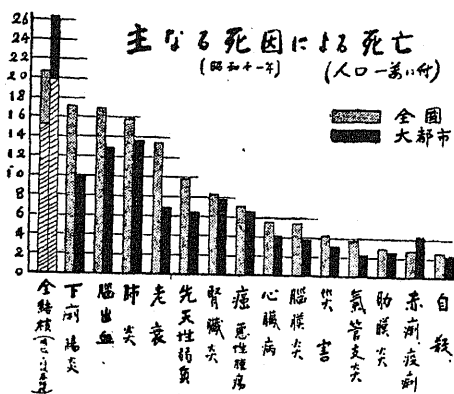
(昭和十一年)



トより少し越しますが、三〇パーセント位は生れてから四年以内に死んでしまひます。六十歳以上の人が死ぬ、これは無論多いのでありますが、これが全體の三〇パーセントであります。五歳から五十九歳までの間、これがそのあとの三〇パーセントといふことになります。ここに書きましたのは、これは大體五歳單位で五歳つゞいで年齢を區切つて居りますが、特にこの零歳といふのは生れたばかりの人、それが一年に死にます全體の二〇パーセント、畢り二割は一年の内に死にま

いふ風に一年に百二十三萬も死にますが、その死ぬ原因は何かと言ひますと、その内の八九パーセントは病氣で死んで居ります。實際に人間としての生命を全うしまして、本當に老衰で死にます人は僅に七パーセントしかありません。この外因死といふのは、これは病氣ではなく、例へば怪我をするとか、自殺するとか、災害で死ぬとか、この外死因が約四パーセント。その次には死亡者の年齢でありますけれども、百二十三萬も死にます内の大體三〇パーセント、或は三〇パーセン

す。特に日本ではこの乳児死亡、一年未満で死にます人が非常に多い、これはさういふことを意味するかと言ひます。要するに母體が弱い、さういふところが一つの原因になります。生れてからの育て方が餘り上手でない、さういふ點も一つあります。その外、醫療設備の不完全も原因になるかも知れません。それが證據にはこの赤い字は大都會であります、大都會では幾らか乳児死亡は低いのであります。ですから大都會のやうに醫療設備の稍々完全したところでは、全國の平均に比べますと下つて居ります。今度は老年の死亡についても大都會に於ては少くなつて居ります。ところが、この十五六歳から二十歳前後、この邊を見ますと、この邊は大都市の方が遙に殖えて居ります。畢竟中年の病氣、大體五六歳から五十何歳までの病氣で死にます数は、大都會の方が殖えて居ります。これは畢竟——あきでお話致しますが——結核とか傳染病、さういふものが、さうしても都會に多い、さういふ傾向を示して居るのだらうと思ひます。日本のこのカーブでもつて外國に比較しまして、特に目立ちますのは、この二十歳前後の、この山であります。これを外國で見ますと餘り山が高くなつて居りません。畢竟結核死亡がこの邊に非常に多いのでありますために、この山が出来るのであります。



その次は病氣の種類であります。これは大體、内務省で決めました分類の名前のつけ方ではありますが、それによつて見ますと、一番死亡の多いのは結核であります。これは人口一萬に對しては二十六幾らさういふのでありますから、千人に對して二人餘り結核で死亡します。全體の数は一年に十五萬位であります。この結核を見ますと、黒いのが大都會であります。青いのは全國、大都會の方が遙に多いのであります。それから第二番目には下痢腸炎、日本は非常に胃腸の病氣で死にます者が多い。殊に子供の死亡には疫痢なごで死にますのが非常に多い、これはなぜか、いろ／＼原因もありませうが、まだ日本の衛生施設が完備して居ない。畢竟下水、水道等が完備して居ない。これが一つの大きな原因だらうと思ひます。それから農村で——この頃は人工肥料を餘計使つて居るでありませうが、——まだ

危険な人糞肥料を使つて居りますのが一つの原因でもありません。それから一般の人が日本人は昔は非常に病氣も少なく、奇麗な土地でありましたので物を生で喰べる習慣がさうしても改善出来ない、さういふ點もあるのではないかと思ひます。兎に角、一般のまだ衛生教育の不徹底さいふことが、大きな原因であらうと思ひます。三番目は腦溢血、その次は肺炎、老衰死は天壽を全うして死ぬ人、これは五番目になつて居ります。その次は先天性弱質であります。これは生れながらにして育ち得ない身體で生れて来る人が死ぬことを言ふので、これは皆零歳の死亡であります。あゝは腎臟炎、癌、心臟病、腦膜炎、災害、氣管枝炎、肋膜炎、赤痢、疫痢、この下痢腸炎さいふのは傳染病を入れてないものであります。それから自殺さ云ふ順序です。こゝで大都會で特に多いのは赤痢と結核です。これを外國殊にヨーロッパ死亡原因に比較しますと、向ふでは第一は心臟病であります。それから腦出血、癌が主でありまして、結核はこの頃は第六位、七位になつて居ります。東北帝大の熊谷教授の發表によりますと、日本は結核に對して處女地であります。そのために斯ういふ傾向にあるさいふことを言はれて居りますが、或は名言であるかも知れません。然し現在結核が非常に蔓延して居りますから、これに對する對策は政府當局も非常に苦心しまして、もう二三年前から保健所さいふものを拵へて早期に結核を見出して治療する。さうすれば治りますので、さういふ方法を探つて居ります。同時に結核に對する病院をさういふ増設して居ります。實際ヨーロッパでも三十年、五十年前に非常に結核で苦しんだ經驗を持つて居ります。それを日本は三四十年遅れて今非常に苦しんで居ると思へば、さう將來を悲觀したものでもないであります。唯この下痢腸炎これは何んさか日本で衛生施設を旺んにしまして、いろ／＼衛生教育を充分に致しませんさいけません。殊に日支事變をやつて居ります際支那では非常に赤痢、チブス、斯ういふ消化器系統の傳染病が多くありますからこれが輸入して来るかもしれせん。そこでさうしても日本人としては、十分なる方策を講じて置く必要があると思ひます。

こゝに擧げましたのは、死亡者の年齢と死因との關係で、畢り一歳未満の人の死にます總數を千で擧げますと、先天性弱質で死にますのが千分の二百七十七、ですから二七パーセント、下痢腸炎で死にますのが一八パーセント、肺炎一七パーセントさいふやうな譯です。それから一歳から五歳位になりますと、この先天性弱質は零歳で死んでしまひますから、こゝでは下痢腸炎が第一で、二九パーセント、肺炎一八パーセント、次が腦膜炎さいふことになります。それから五歳から十五歳、これは割合に健康な時期です。既に育ち得ない子は死んでしまひまして、これから伸びやうさいふ子ばか

死亡者の年齢ご死因

	一歳未満	總數千中
(總數)	245.357人	1000.0人
先天性弱質	67.986	277.1
下痢・腸炎	44.723	182.3
肺炎	41.971	171.1
一歳以上五歳未満		
(總數)	143.276	1000.0
下痢・腸炎	41.834	292.0
肺炎	26.180	182.7
膈膜炎	12.779	87.2
五歳以上十五歳未満		
(總數)	58.531	1000.0
結核	12.579	214.9
消化器疾患	9.540	162.9
膈膜炎	5.987	102.3
十五歳以上六十歳未満		
(總數)	414.341	1000.0
呼吸器結核	94.547	228.2
膈出血	35.243	85.1
消化器疾患	34.345	82.9
六十歳以上		
(總數)	368.696	1000.0
老衰	91.933	249.3
膈出血	82.535	223.9
腎臓炎	29.355	79.6

す。老人を別ごしまして、必ずぎの年を見ても消化器系統の病氣が入つて居ります。これが日本の死因の特徴であります。これで大體まアお氣つきになりましたやうに日本は非常に結核が多い、畢りこの結核に對してさういふ対策をしなければならんかといふこと、もう一つ消化器系統の病氣が多い、これに對して、さういふやうな方を講じて行くかといふことが、目下の衛生の大問題になつて居ります。それについてお話することは澤山ありますが、時間の都合もありますから、これから空氣衛生のお話をしてみたいと思ひます。(つゞく)

りが残る。さういふ傾向になりますから、この時代は割合に死亡は少ないのであります。その死亡の一番多いのは、もう既にこの時分から結核が第一であります。五歳から十五歳までの死亡の二一パーセントは結核であります。その次は消化器疾患が一六パーセント、膈膜炎一〇パーセント、十五歳以上五十九歳までの死亡は呼吸器二二パーセント、この位になります。三、膈溢血の人が約八パーセント、消化器が八パーセント。六十歳以上になります。老衰が第一位でして、その次が腎臓炎、これ等を見ま

保育實習科新卒業者

東京女子高等師範學校保育實習科は昭和十六年三月、左の二十五名の新卒業者を保育界に送り出さうとしてゐます。皆それ〴〵適當な働き場所を得て斯界の爲熱心にその職に従事し度い希望に燃えてゐます。

氏名	出身校	生年	月	日	氏名	出身校	生年	月	日
赤木 和榮	岡山縣立新見高等女學校	大正十二年	六月	八日	關 登美子	東京府立第三高等女學校	大正十一年	十月	三十日
五十嵐幸子	東京女子高等師範學校附屬高等女學校	大正十二年	二月	十一日	高村 章子	東京女子高等師範學校附屬高等女學校	大正十一年	七月	十日
岡田伊都子	東京女子高等師範學校附屬高等女學校	大正十一年	五月	廿九日	高山 良子	東京櫻蔭高等女學校	大正十一年	三月	八日
岡本 彌生	京都府立京都第二高等女學校	大正十二年	三月	廿六日	佃 光子	廣島縣立三原高等女學校	大正十二年	七月	十日
佐伯八重子	東京府立第五高等女學校	大正十一年	十月	廿七日	徳川伊津子	女子學習院	大正十一年	五月	五日
佐々木田鶴	和歌山縣立和歌山高等女學校	大正十一年	六月	六日	中桐 鈴子	岡山縣立味野高等女學校	大正十一年	一月	廿九日
佐々木英子	東京女子高等師範學校附屬高等女學校	大正十一年	四月	十二日	丹羽 英子	東京府立第六高等女學校	大正十一年	四月	十六日
施氏 素筠	臺灣臺北州臺北第三高等女學校	大正十二年	九月	十五日	野村 黎子	本女子大學附屬高等女學校	大正十一年	九月	四日
四宮 茂代	東京東洋高等女學校	大正十二年	三月	廿一日	林 富美子	千葉縣立安房高等女學校	大正十二年	二月	五日
島津 榮枝	佐賀縣立佐賀高等女學校	大正十一年	十二月	六日	二荒 明子	女子學習院	大正十二年	二月	六日
神宮あゝ子	東京櫻蔭高等女學校	大正十年	十一月	十三日	福島 松枝	東京櫻蔭高等女學校	大正十一年	九月	三十日
下村 京子	京都府立京都第一高等女學校	大正十一年	十一月	六日	山村シヅ子	廣島縣立廣島高等女學校	明治四十三年	五月	十一日
杉本 濱路	横濱鶴見高等女學校	大正十二年	二月	廿八日	李 順吉	朝鮮京畿公立高等女學校	大正十二年	十一月	十三日

日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 下村 壽
 主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣三
 附屬幼稚園主事 倉橋 惣三

日本幼稚園協會規則

第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス

第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス

第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ輸出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ク

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ

第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ

第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得

第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ

一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査
 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習會ノ開催

會ノ開催

一、雜誌發行(毎月一回)
 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 會務ヲ總理ス
 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス

幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス

評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス

第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス

第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ

第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

定價

一ヶ月分	金參拾五錢	特等面	一圓
半ヶ月分	金貳圓拾錢	一等面	一圓
六ヶ月分	金貳圓拾錢	二等面	一圓
一ヶ年	金四圓拾錢	廣	金拾五圓
拾ヶ年	金四圓拾錢	廣	金拾五圓

（外國郵稅は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）
 昭和十五年十二月二十八日印刷納本
 昭和十六年一月一日發行
 幼兒の教育 第四十一卷 第一號

不許複製 轉載

發行所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
 柴山 則常
 印刷所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
 倉橋 惣三
 杏林 舎

發行所 日本幼稚園協會

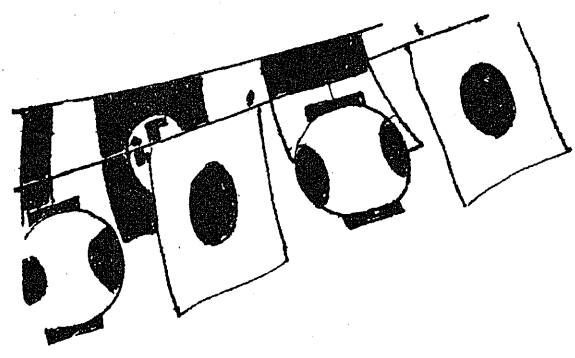
東京市小石川區大塚町三十五
 東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
 振替口座東京一七二六六番

注 文 規 定

一、本誌御注文の方は凡て前金(郵稅共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て割増)
 一、御送金の場合はなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたします。其節は早速御送金を願ひます。
 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

たのしいお細工

うれしいお正月、この季節の手技材料がいろいろ取揃ひました。
今から拵へてまちませう。戦地の兵隊さんにもあげまう。



- ◇ストッキング用織紙 五〇組 二、八〇銭
 - ◇星(金銀の美しい星) 一箱 七五銭
 - ◇終の葉 一箱 五〇銭
 - ◇お誕生祝の鯛 一〇〇枚 二、二〇銭
 - ◇国旗さ日の丸 一箱 二五銭
 - ◇提灯さ日の丸 一箱 二五銭
 - ◇後藤連繫紙 一箱 五〇銭
 - ◇カレンダー掛星形臺紙 一〇枚 八〇銭
 - ◇モモタラウカルタ 一組 二五銭
 - ◇健康カルタ(東京大阪) 各一組 二五銭
- その他羽子板材料、獨樂用材料等

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
毎月一回日發行

昭和十五年十二月二十八日印刷納本
昭和十六年一月一日發行

停 定價參拾五錢

株式會社 服部

本社 東京 神田 保神二丁目 電話(33) 三六二番
支店 大阪 區東 後備五丁目 電話(24) 一八九番